

現代男子ノ外套モ種々型ニ於テ変化サレ此、他春夏着用スル、スプリングコート・サンマーカーコート等流行シテ居ル。

型ル居テヒ用ノ人商

オーバーオ

外套

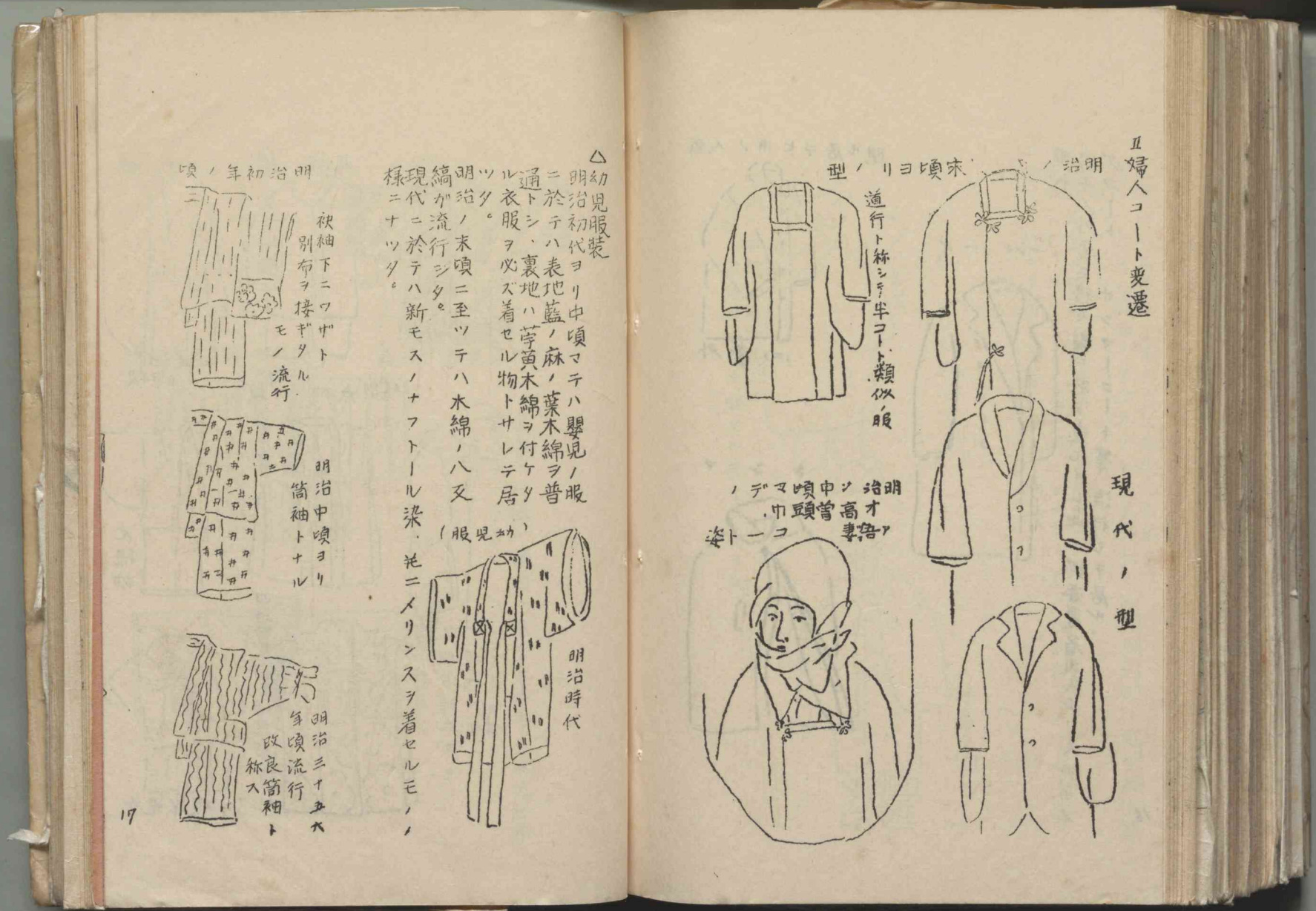
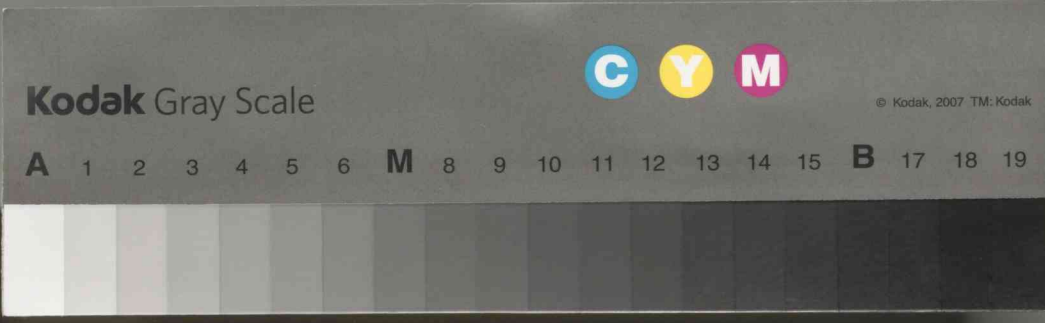
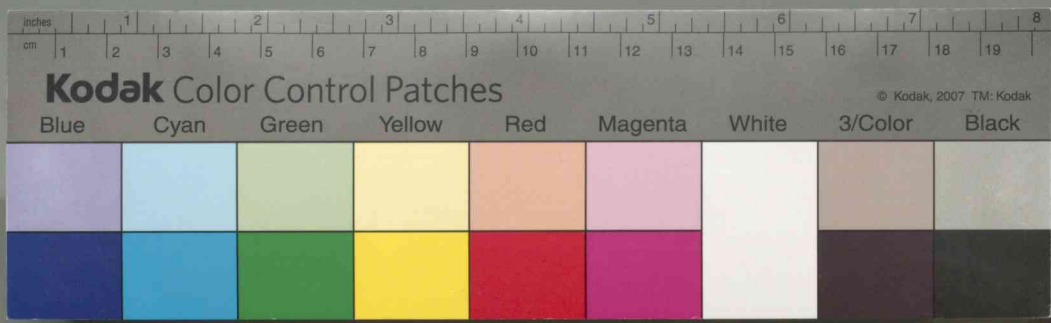
外装(一)

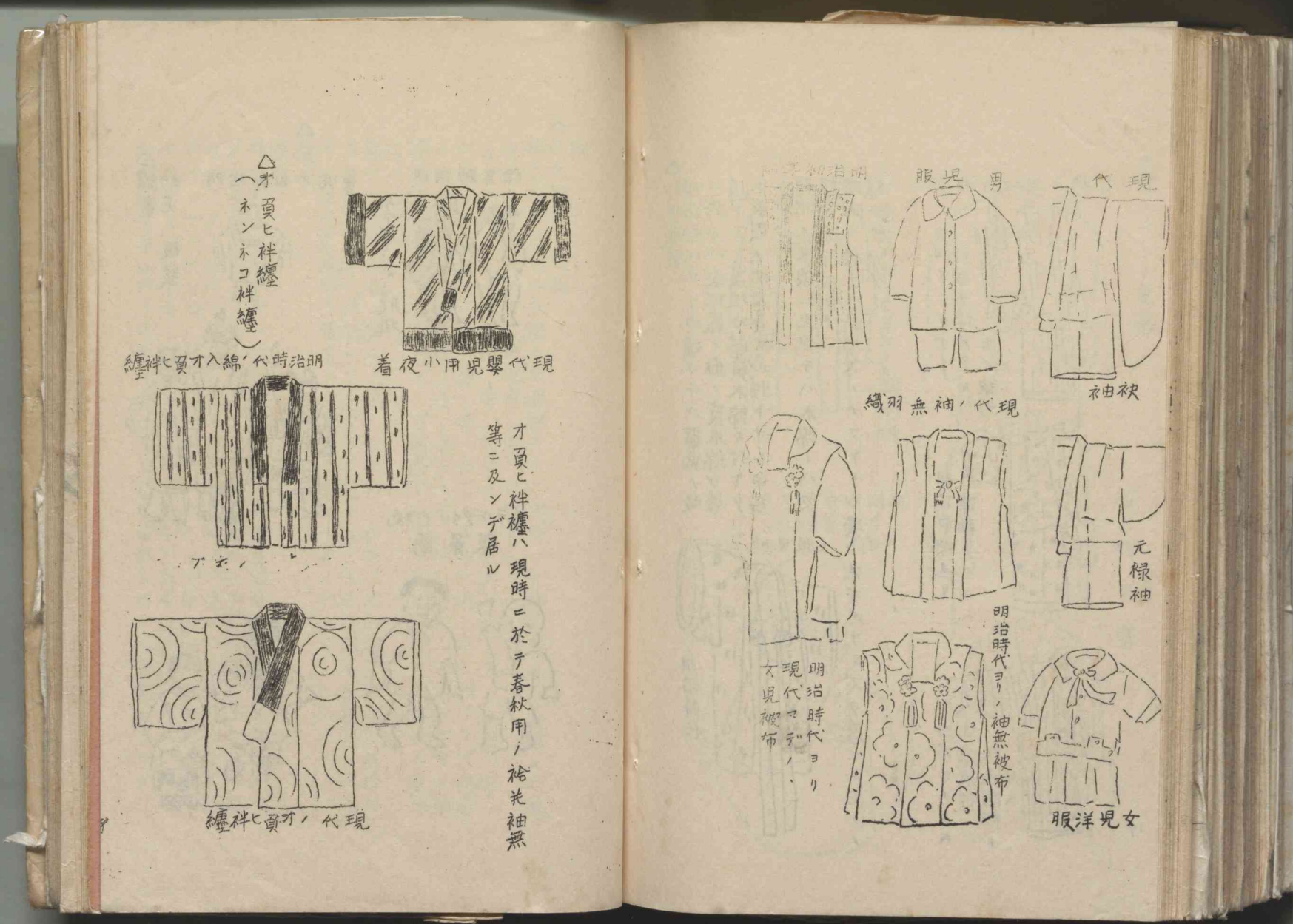
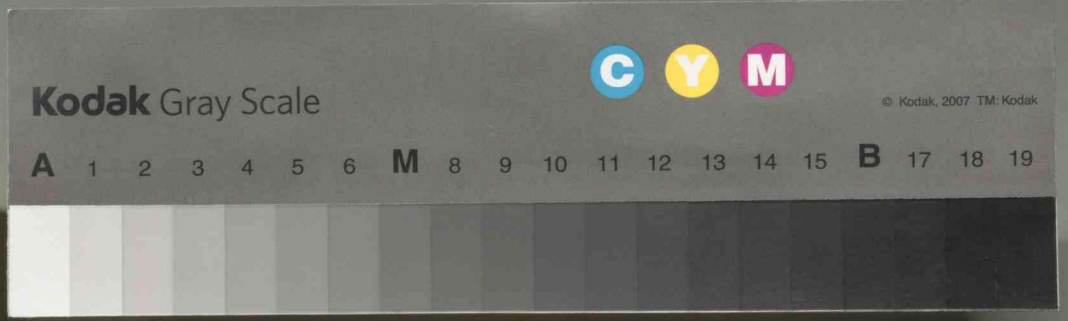
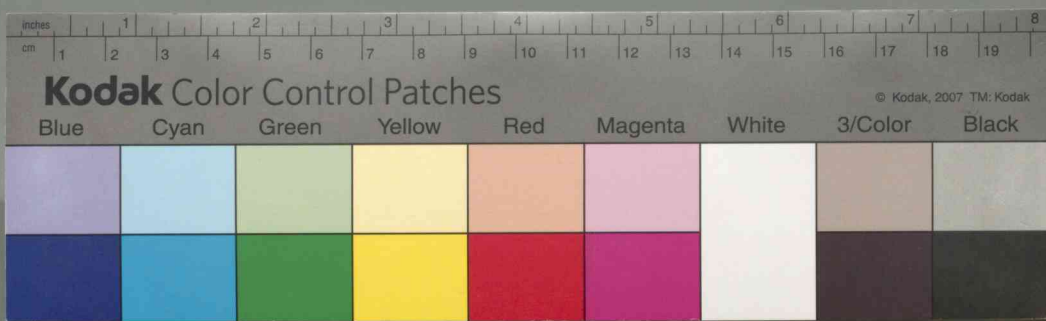
右圖ハ本村八岡所見
舊曆、正月鹿沼町ニ於ケル花市ニ向フ所

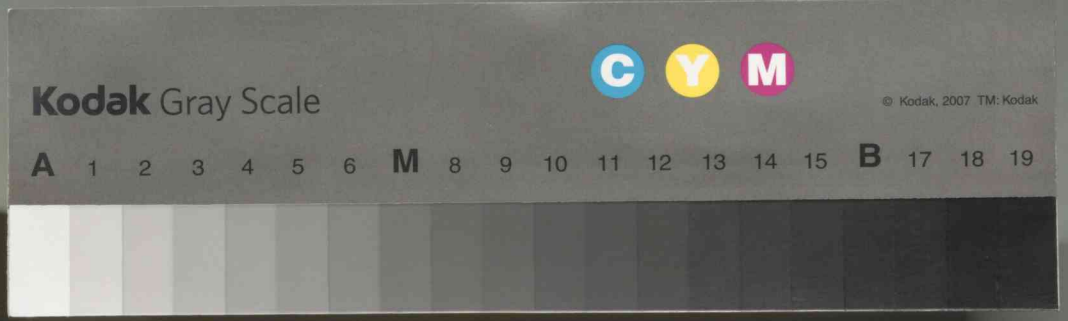
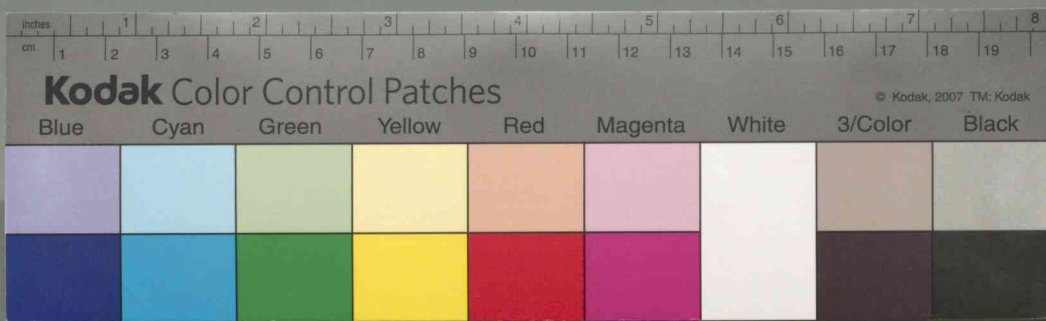
エンバナース

又明治ノ末頃ヨリ半コート流行シテ來タ。男子ハ近年毛織物ニテ仕立タル、マント、エンバナース、オーバー等ニ變化セリ。現代雨衣ノ種類ハ凡ソ左ノ様デアル。長コート、半コート、マント、エンバナース、オーバー等。現代本村ニテ用ヒテ居ル男子ノ外套。









△外來輸入毛織物
 明治初年頃外來輸入毛織物ニテ、ゴロト糸スルモノ素晴シク流
 行サレタソウアル。現時ノザジ如キモノナラン。
 色合モ種々アリテ、緋、紫、紺等ナリ。用途ニ於テモ、半衿、帶、
 羽織等ニ用ヒラレタ。其ノ頃、ゴロノ半衿一揃ニテモ所持セザル者
 ハ恥カシキ程デアツタ。其ノ事デアレバ、ゴロノ帶、ゴロノ羽
 織等ヲ所持スル者ハ大イニ伊達者ト言ツチハ、バヤチカセタ言フ
 コトデアル。
 現代ニテハ何人ニテモ大松メリンズ、ネル、セル等ノ衣服ヲ所持セ
 又者ハナイ位ノ流行デアルカラ、是ト其レト比較シテ見テモドウ
 シテモ外來織物ヲ賞美スル通癖カ失セナイデアル。
 △履物
 明治大正ノ頃マデハ一般旅行者或ハ労働者等股引脚半仕度ノ時ニハ
 大抵草鞋ヲ用ヒタ。其ノ作リニ於テモ各様アリテ旅行用トシテハ体裁
 フリタリ、飾ヨリ緒通ノ耳ニ白紙ヲ巻キタル者或ハ共緒ハ短カク結
 ビ切リニシ別ニ麻ノ緒ヲ通セシモノ又ハミコ草鞋布切草鞋等ヲ用ヒ
 タ様デアアル。労働者ニ於テハハノ共緒草鞋ヲ專用シタ。
 暫時ゴム底ノ地下足袋ニ壓倒サレ現時草鞋ヲ用フル者稀トナツタ。

頃年初治明



童現ノ年初治明

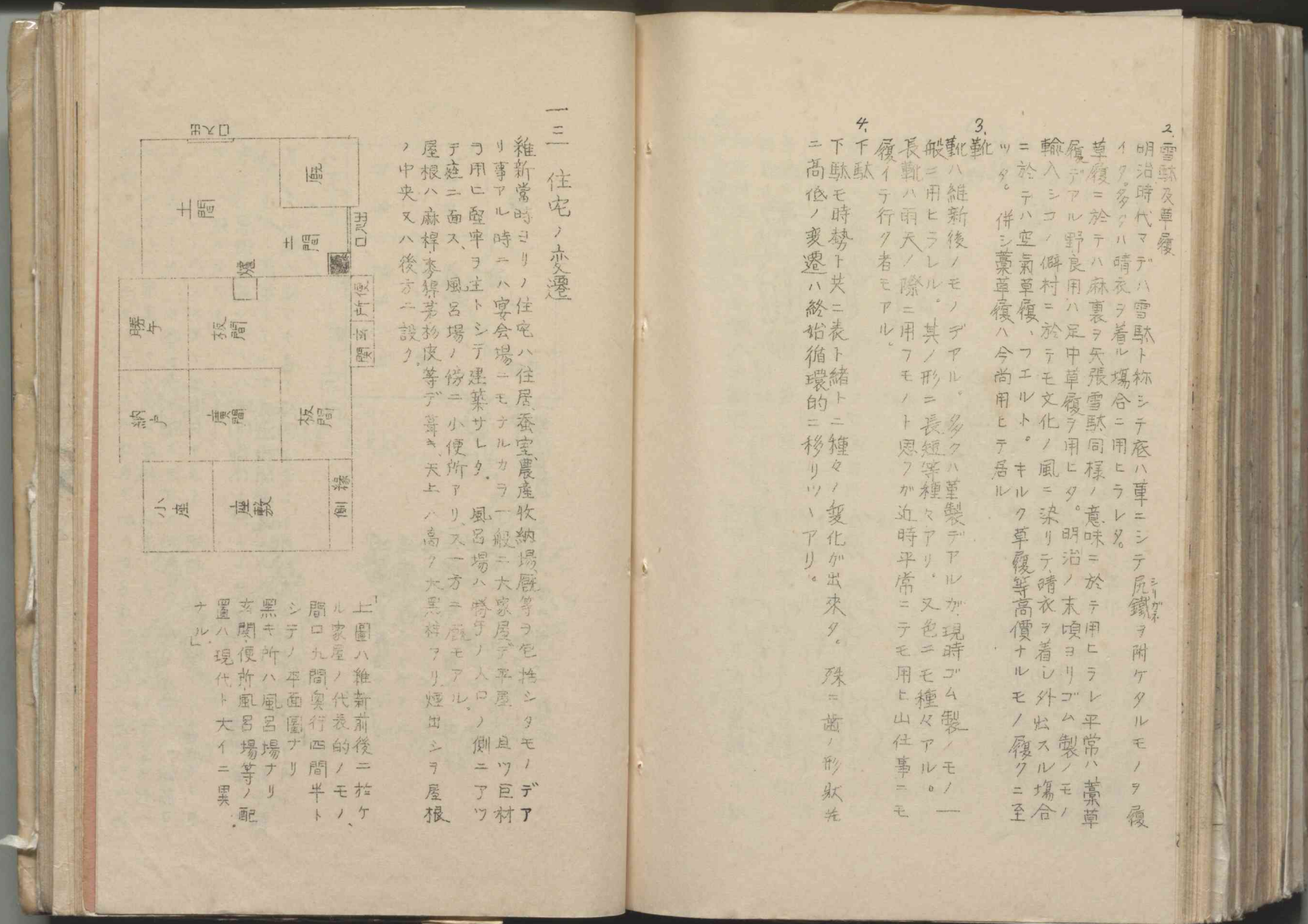
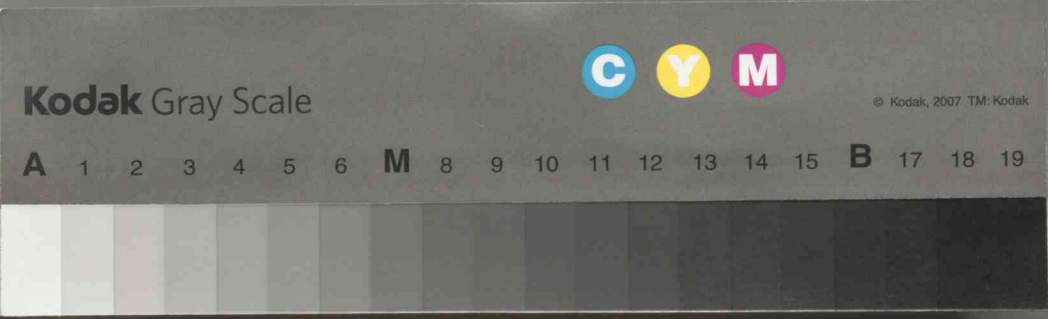
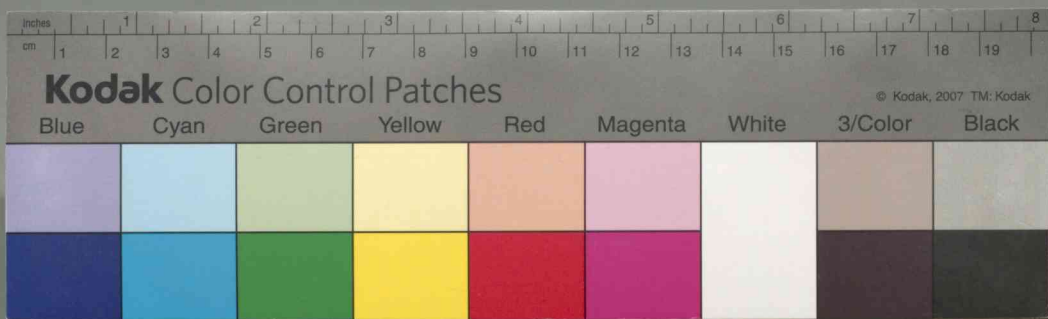


△繪畫ニヨル
幼見ノ服装

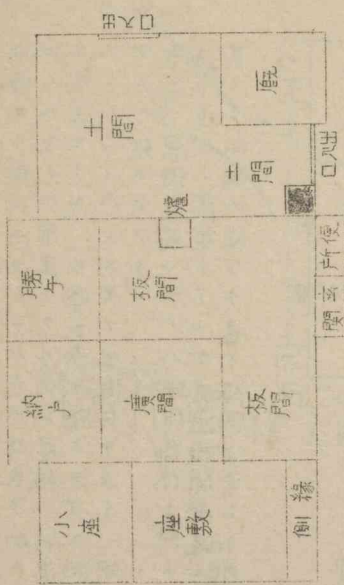


着ラツタイノ代現
服單簡





一二 住宅ノ変遷

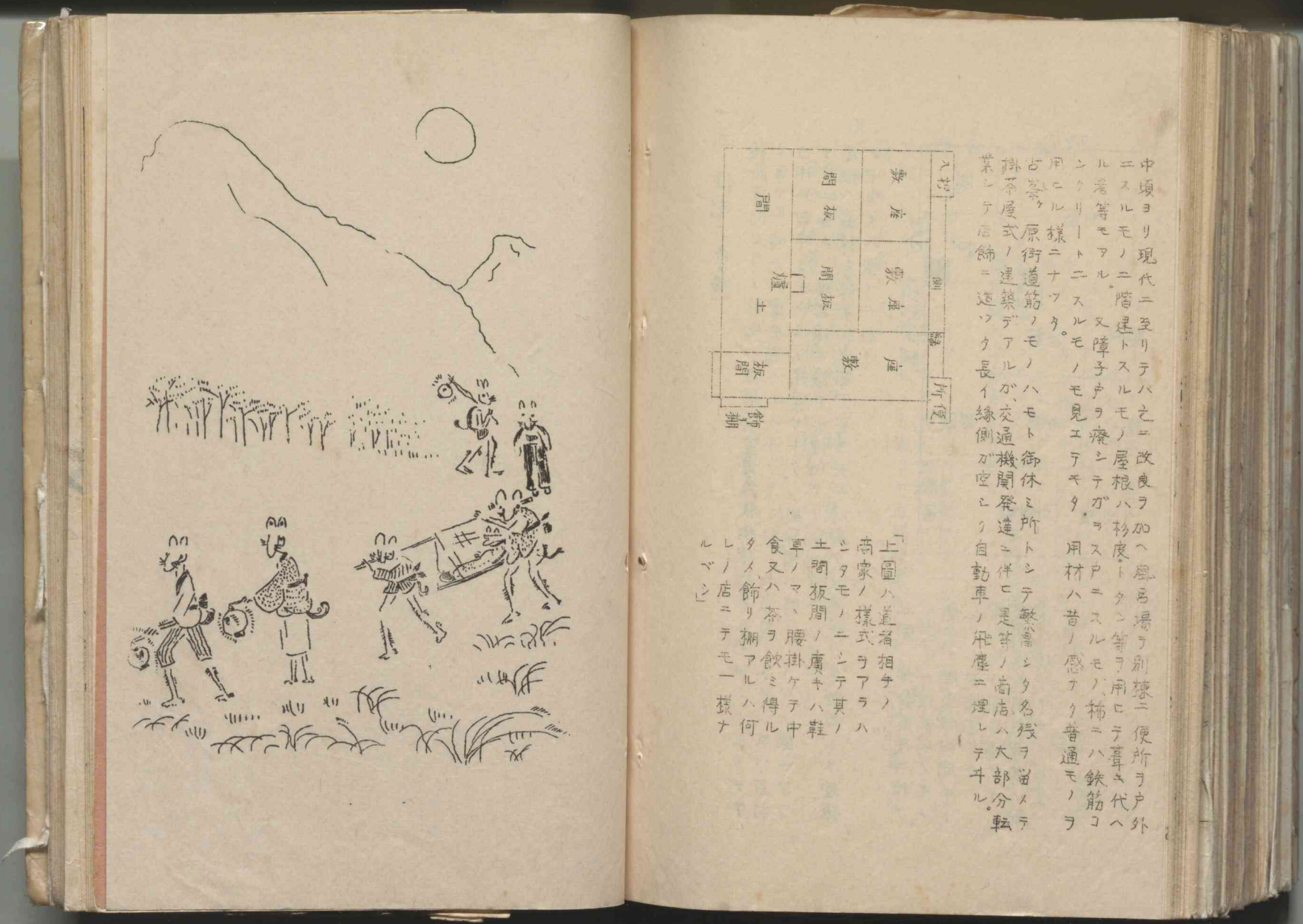
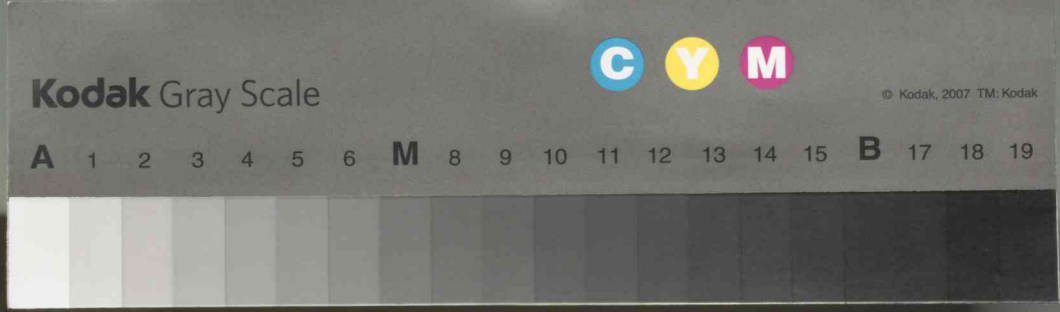
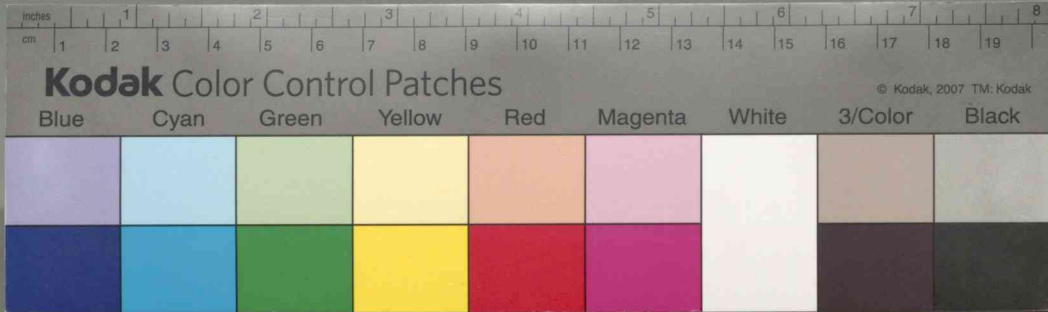


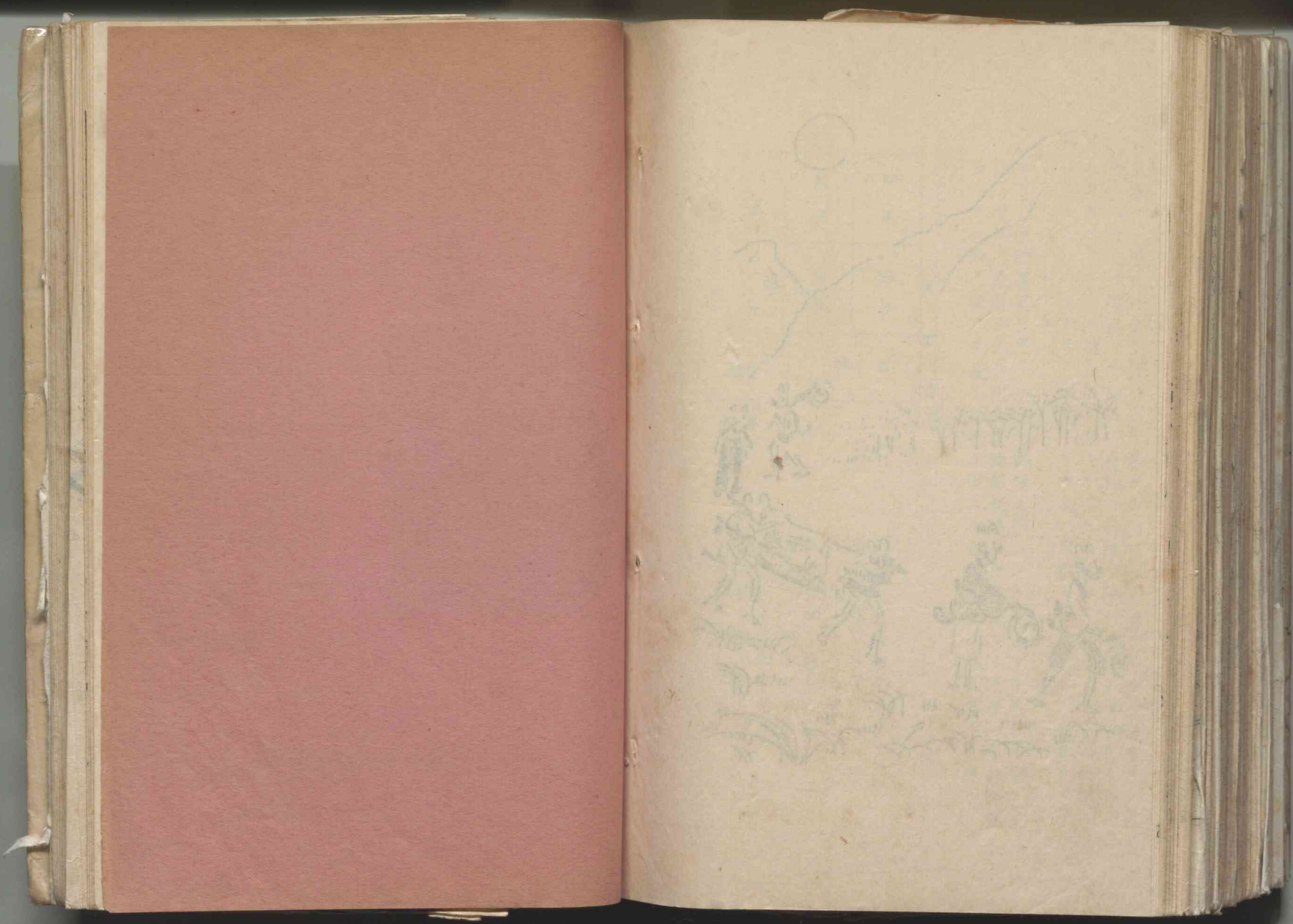
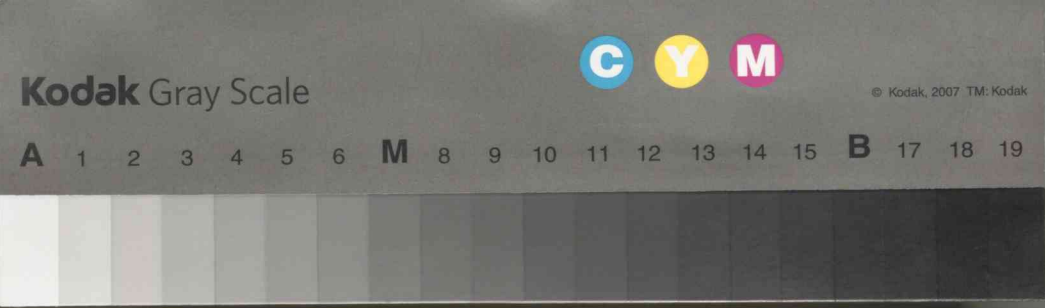
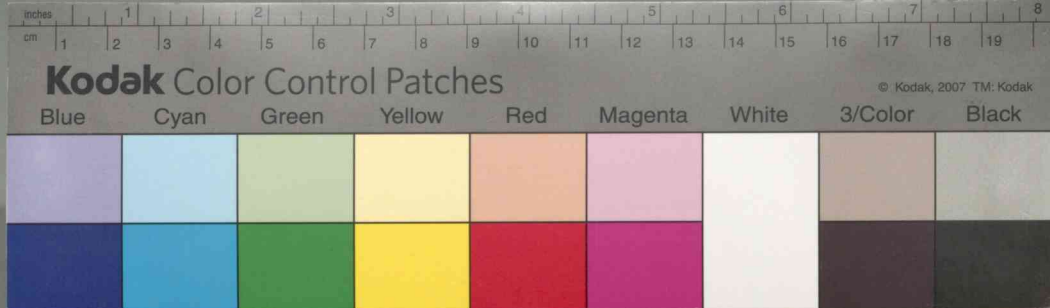
維新當時ヨリノ住宅ハ往屋蚕室農産牧納場厩等ヲ包括シタモノデア
リ事アル時ニハ宴會場ニモナルカラ一般ニ大家屋テ平屋且ツ巨材
ヲ用ヒ堅牢ヲ注トシテ建築サレタ。風呂場ハ勝手ノ入口ノ側ニアツ
テ庭ニ面ス。風呂場ノ傍ニ小便所アリ。又一方ニ座敷モアル。屋根
屋根ハ麻桿麥稈茅抄皮等テ葺キ天上ハ高ク大黒桿アリ煙出シテ屋根
ノ中央又ハ後方ニ設ク。

上圖ハ維新前後ニ於ケル家屋ノ代表的ノモノノ
間口九間奥行四間半ト
シテノ平面圖ナリ
黒ヤ所ハ風呂場ナリ
女間便所風呂場等ノ配
置ハ現代ト大イニ異
ナレ。

2. 雪駄及草履
明治時代マテハ雪駄ト稱シテ底ハ草ニシテ尻鐵ヲ附ケタルモノヲ履
イタ多クハ晴衣ヲ着ル場合ニ用ヒラレタ。
草履ニ於テハ麻裏ヲ矢張雪駄同様ノ意味ニ於テ用ヒラレ平常ハ藁草
履テアル野良用ハ足中草履ヲ用ヒタ。明治ノ末頃ヨリゴム製ノモノ
輸入シテ村ニ於テモ文化ノ風ニ染リテ晴衣ヲ着シ外出スル場合
ニ於テハ空氣草履ヲ用ヒル。キルク草履等高价ナルモノ履クニ至
ツタ。併シ藁草履ハ今尚用ヒテ居ル。
3. 靴
靴ハ維新後ノモノデア。多クハ革製デア。カ現時ゴム製ノモノ一
般ニ用ヒラレ。其ノ形ニ長短等種々アリ。又色ニモ種々アル。一
長靴ハ雨天ノ際ニ用フモノト思フ。近代時平席ニテモ用ヒ山仕事ニモ
履イテ行ク者モアル。
4. 下駄
下駄モ時勢ト共ニ表ト緒トニ種々ノ變化カ出来タ。殊ニ齒ノ形状先
ニ高低ノ變遷ハ終始循環的ニ移リツキアリ。



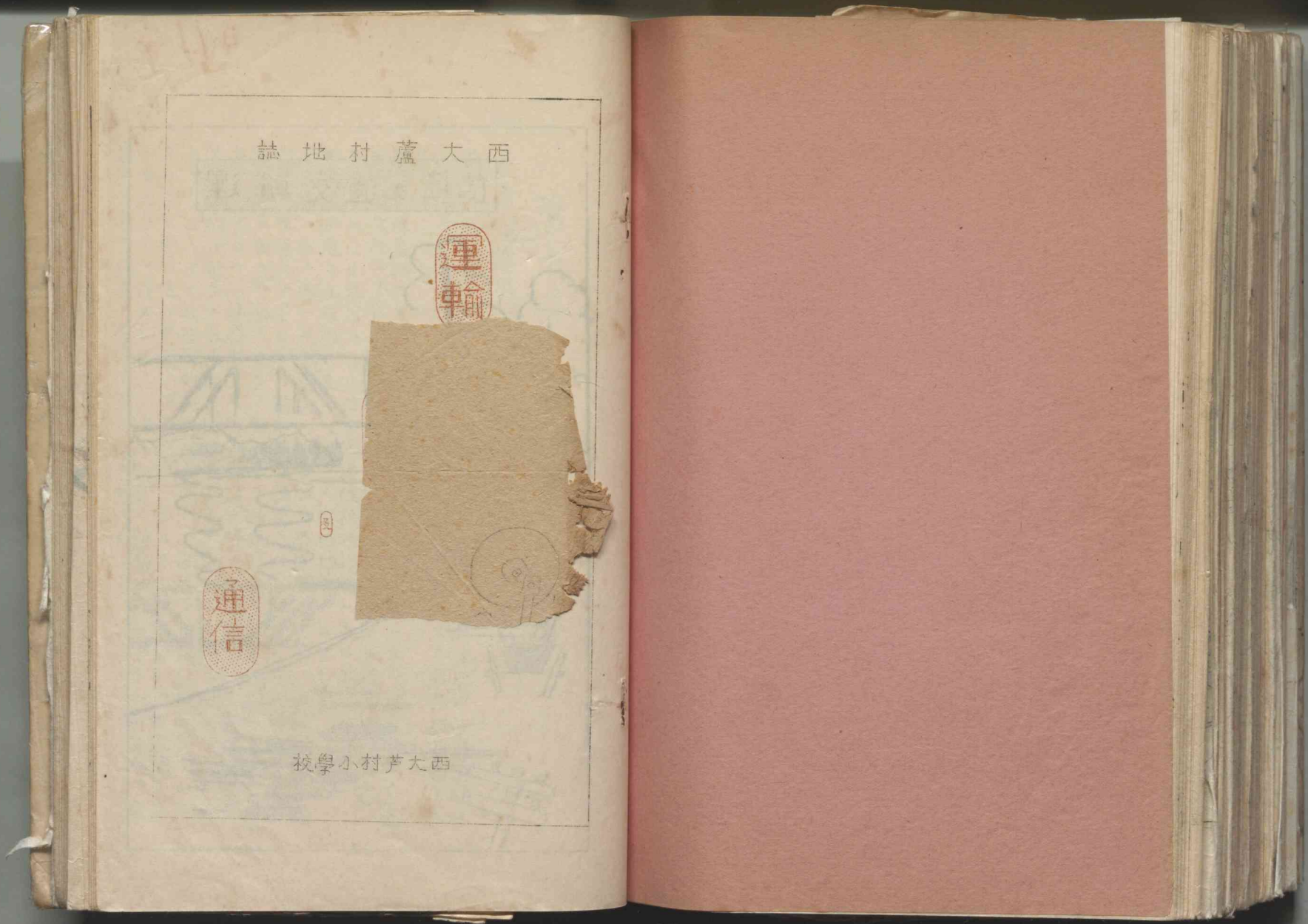
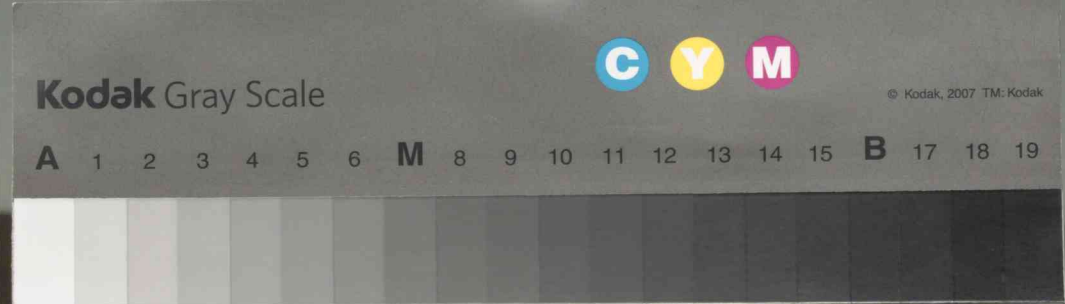
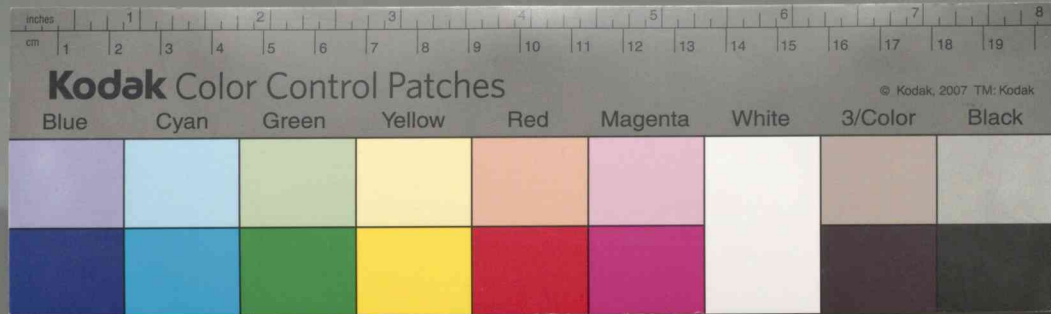




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13

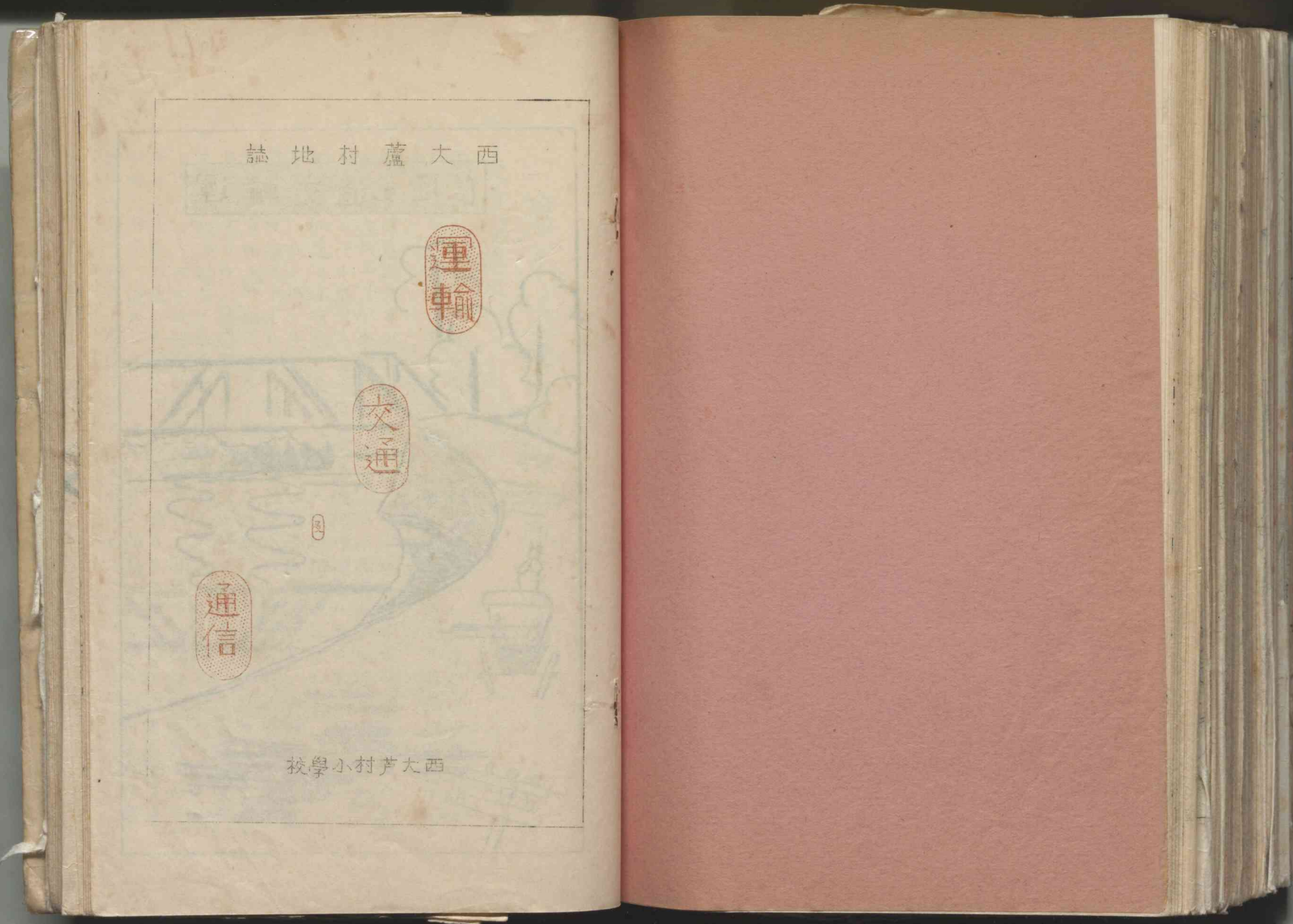
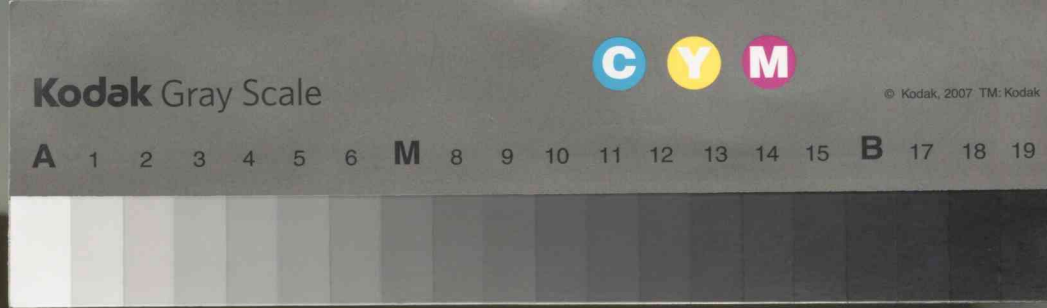




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

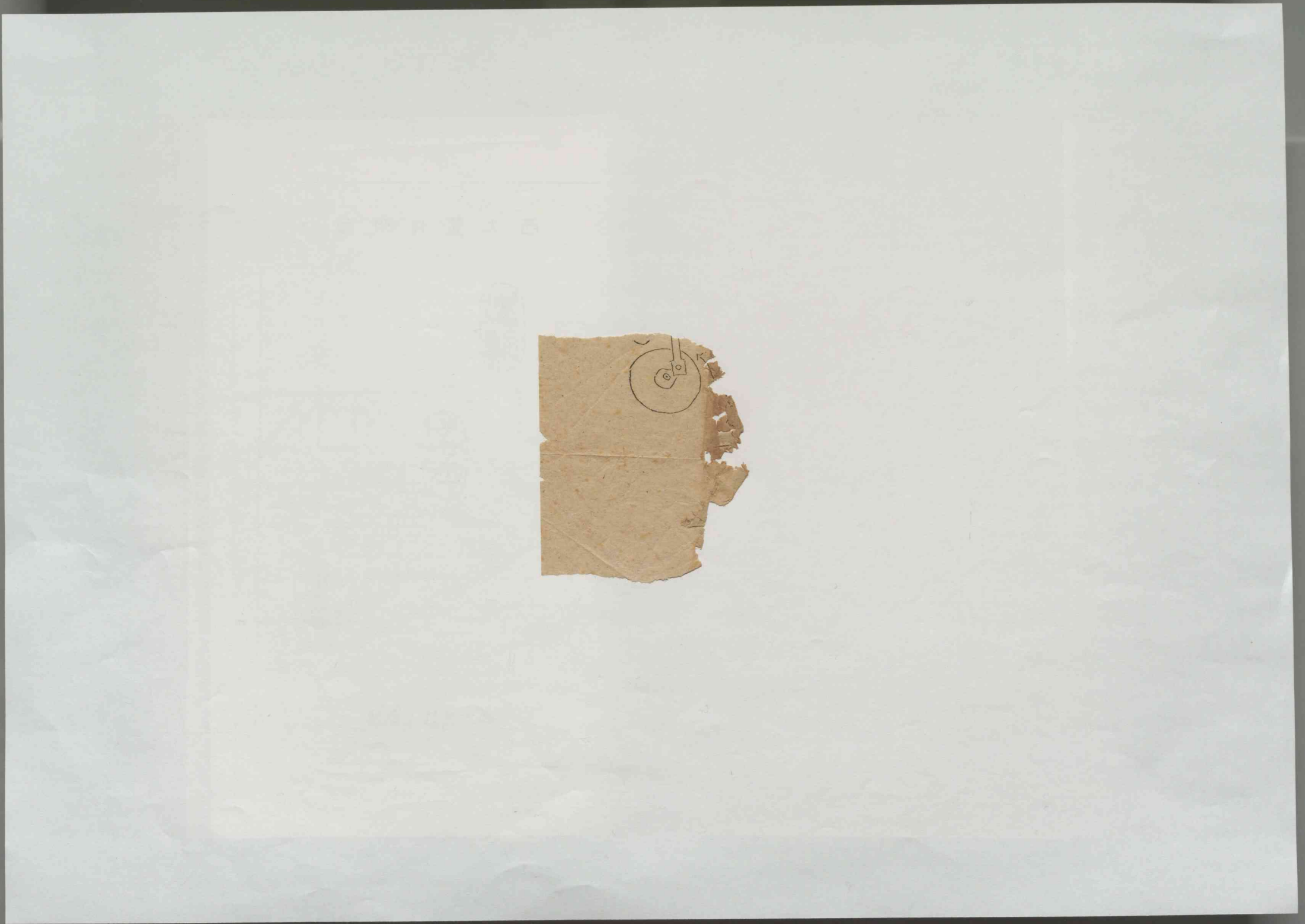
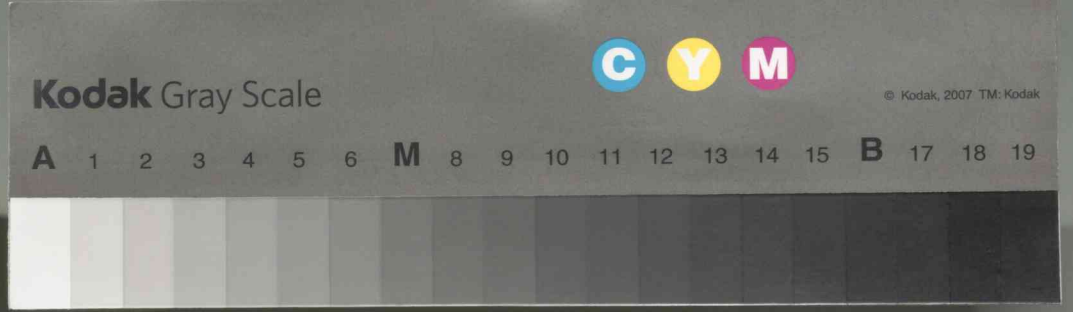
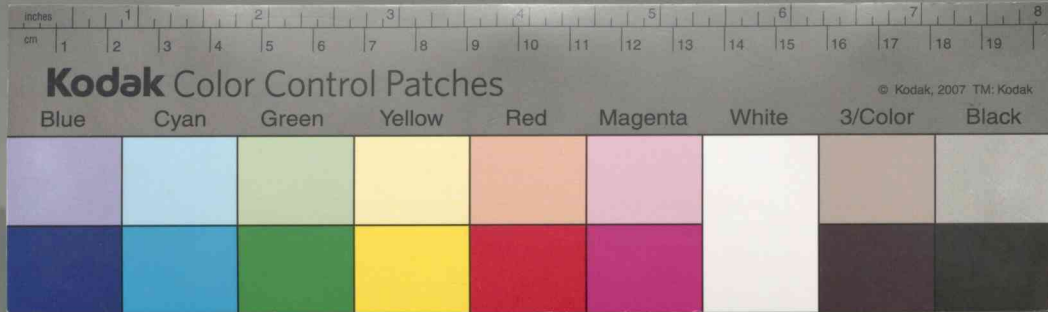
13





492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

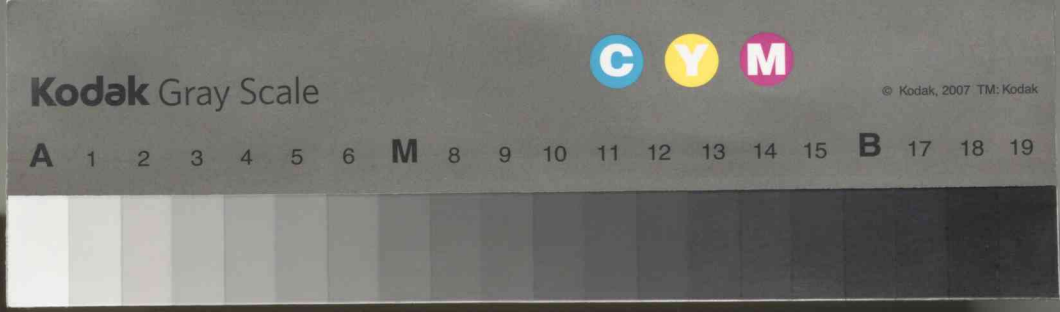
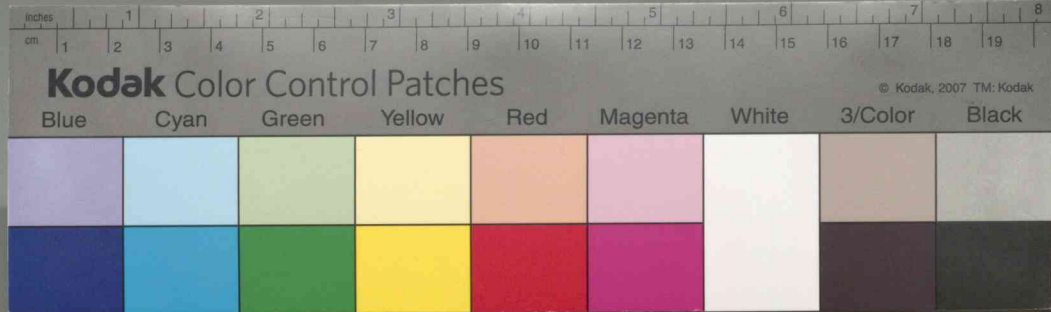




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





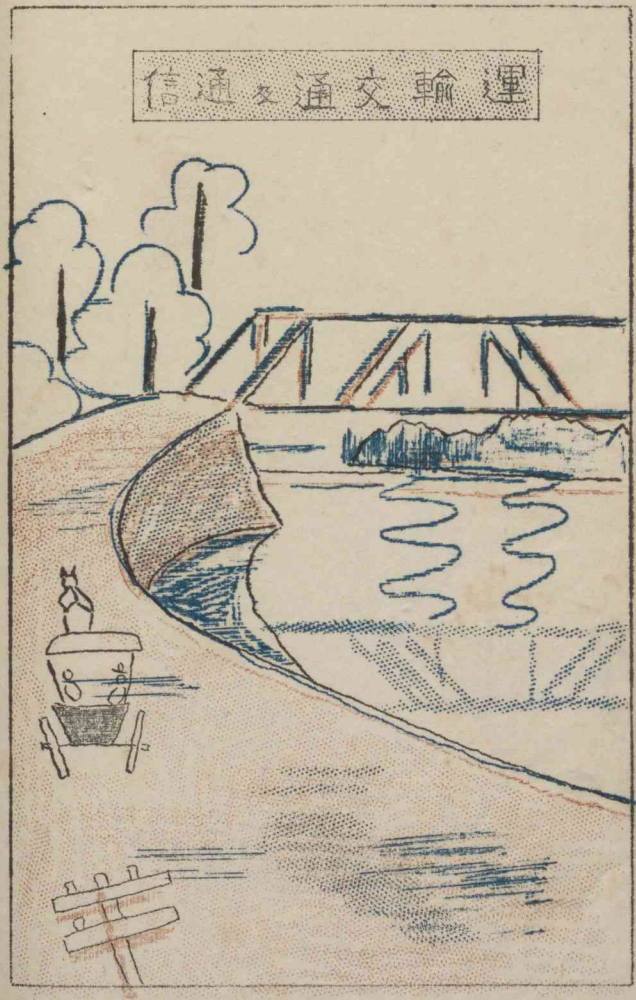
元本村ニ關係了ル中心都市ハ政治的宗教的ニハ日光テアリ經濟的ニハ今市デアツタト恩フ而ヒテ之寺ノ都市ニ通ズル道路ハ四筋アル

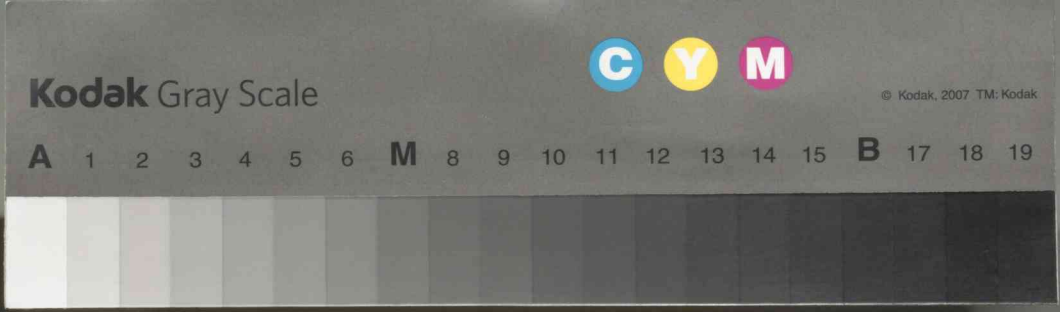
一、大久保盆地ヨリ小來川ニ至ルモノ
 二、八岡盆地ヨリ小來川ニ至ルモノ
 三、白平ヨリ小來川ニ至ルモノ
 四、河原小屋ヨリ日光ニ至ルモノ
 五、箭車ヨリ此ノ内ニ至ルモノ
 六、テアノ此ノ内ニ至ルモノ
 七、居タノ此ノ内ニ至ルモノ
 八、之ヲノ此ノ内ニ至ルモノ
 九、アヲノ此ノ内ニ至ルモノ
 十、トナク山ノ此ノ内ニ至ルモノ
 十一、バ日光今市ニ通ズルモノ
 十二、退シテ專ラ後者ノ發達ヲ見ル様ニナツタ

一、交通變遷史

一、大久保盆地ヨリ小來川ニ至ルモノ
 二、八岡盆地ヨリ小來川ニ至ルモノ
 三、白平ヨリ小來川ニ至ルモノ
 四、河原小屋ヨリ日光ニ至ルモノ
 五、箭車ヨリ此ノ内ニ至ルモノ
 六、テアノ此ノ内ニ至ルモノ
 七、居タノ此ノ内ニ至ルモノ
 八、之ヲノ此ノ内ニ至ルモノ
 九、アヲノ此ノ内ニ至ルモノ
 十、トナク山ノ此ノ内ニ至ルモノ
 十一、バ日光今市ニ通ズルモノ
 十二、退シテ專ラ後者ノ發達ヲ見ル様ニナツタ

第十二章 運輸交通及通信

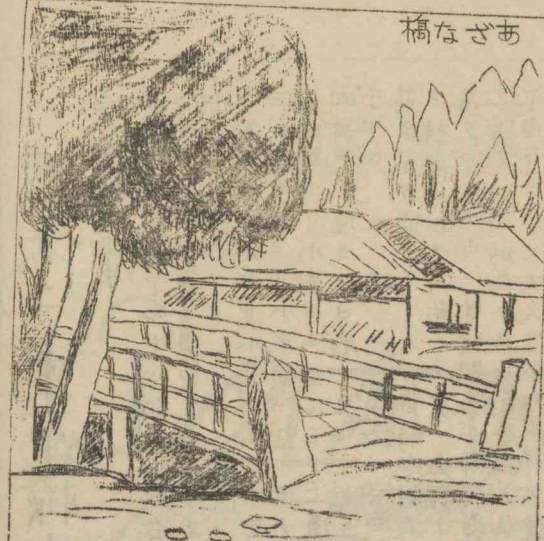




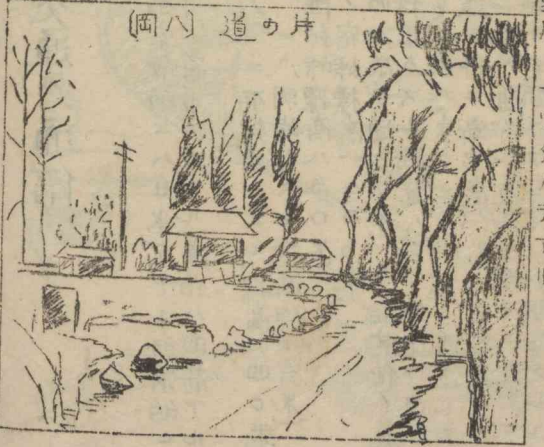
二道路

往古京畿ヨリ奥羽ニ至ル本道ハ太平洋岸ト日本海岸ト中央ヲ走ルノ
生アツテ中央ヲ走ルモノヲ中道ト云ヒ信濃路ヨリ上野路ト来テ相
越エ八尾ノ溪谷ヲ溯リ足尾山塊中ノ一断層古峠原越エ小来川今市藤
原三依リレカヲ山玉峠ヲ越エ津若松方面ニ走ツタモノガアル是ハ
京都ヨリ一里毎ニ作ツタ往古ノ道標デアアル鏡ニ下ノ向ニモ一里塚ト
言フモノアリ
今此ノ説ニ從ツテ本村往古ノ道路發達圖ヲ描ケバ附圖ノ如キモノト
之ニヨレバ古峯神社ガ日本武尊ヲ祭ツタコトモ三味石ニ坂上田村麿
ガ逆賊降伏ノ祈願ヲシタ古峯原ハ足尾ニ村シ八間ノ小来川ニ村シ共
スルコトガデキル即ケテ原ハ足尾ニ村シ八間ノ小来川ニ村シ共
ニ峠ヲテノ交通ノ要地デアリ其ノ外ト峠ヲテノ交通ノ要地デアリ其ノ外ト
ケ花白河ノ小原等ノ起原ハ東放的ニ先ト出ルノ係アリ山間係アリ
ナル故ニ生治峠需品ヲ他ニ仰ク必要ヨリ経済的ニ今市ト關係アリ

橋なざあ

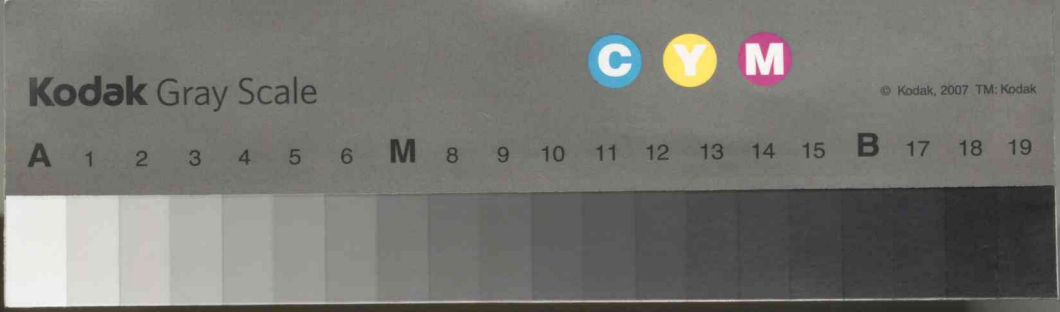


(岡八) 道の片



車馬車ノ普及スルニ本村唯一ノ本道ハ本村唯一ノ大動脈トナワタリデア
ガ出来テハ完全ニ本村唯一ノ大動脈トナワタリデア
動車出来テハ完全ニ本村唯一ノ大動脈トナワタリデア





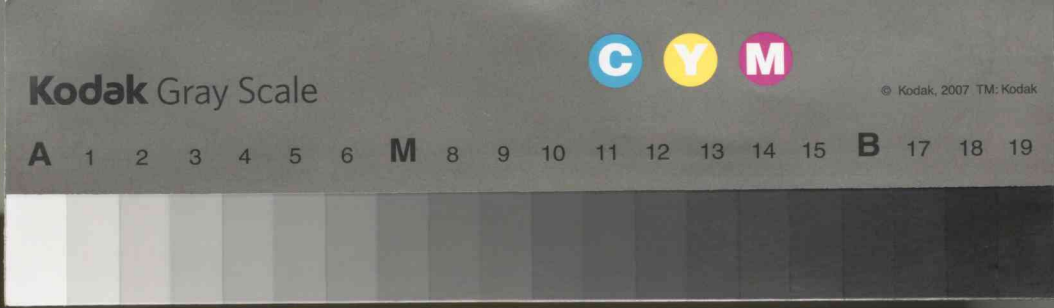
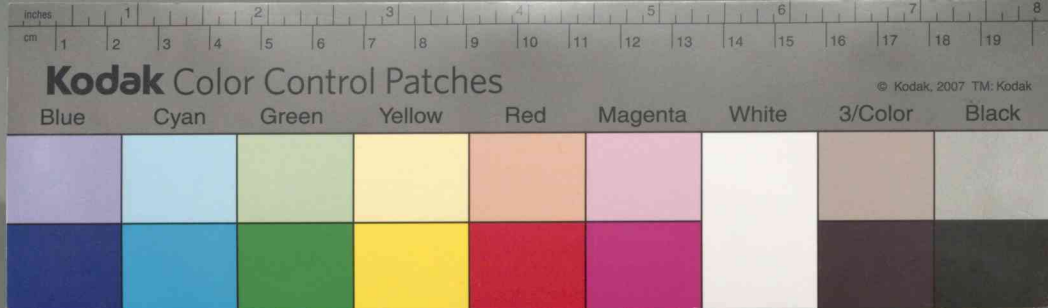
願ラレクナツタ
 嘉永五年キリシタン宗門改帳ニハ上草久ノミテ馬一六一頭牛十一頭
 トアル是等ハ皆交通用ノ牛馬デアツテ各方面ノ道路ヲ通行シタモ
 ノデアツタソレガ現在ニ於テハ自動車ヨリ一日十往復客馬車
 一往復荷馬車ニ四台ノ力車三荷車一八自轉車ニ六一ト云フ有様デ之
 今部慮沼ノ道路ニミ使用サレテモナ
 今此ノ交通系ヲ因テスレバ附ノ如キモノトナル
 鹿沼ヘ車馬道ヲ通シテカラ本村ノ持産デアル林産物が飛躍的ニ價值
 ツケラレテ來タ思フニ昔ハ材木、炭ニ組ンテ雨期水量多キトキニ
 僅ニ運搬サレ薪炭ニ馬背ニヨツテ各方面へ搬出サレタニ過ヅナイ
 ソレガ荷馬車ニナツテカラ莫ノ輸送力増加ト運賃ノ低下トハ自ラ林
 産ノ價值ヲ大ラシメタ
 現在本村ノ幹線道路ハ大芦川ニ沿フテ屋ル倉ニ度々水官涯クツレ等
 ノタメ變更サレテキルシカシ其ノ都度ヨリ普請サレテ來タノハ共
 有山林ノ有ツタタメ工費ノ捻出ガ容易デアラカデアル路筋變
 更ノ有様ハ附圖ノ通りデアル年數乃ノ古峯原參拜者ヲ吸引シテ來
 タ本村ハ之ヲ相争ノ小賣商ヲ殆ンド全滅サセテシマツタ
 八九天直下是等小賣商ヲ殆ンド全滅サセテシマツタ
 是等ハ附圖ニ明カデアル

此等道路ノ往來徳川時代ノ後期ヨリ益々多ク日光線ノ布設サレルマ
 デデアツタソレハ古峯神社參拜者ノ
 初リ而シテ其ノ參拜者ハ多ク日光ヨリ古峯原ヘ來タモノデア
 カシ鹿沼ヘノ道路閉カレ之ガ専ラ經濟道路トナリ次々日光線ノ布設
 ヲ見鹿沼本村間ノ荷馬車客馬車等ガ出來テカラハ山地ノ道路ハ全ク
 (里塚)



道路ハ最初専ラ本村ノ山岳地帯ニ開カレテキタ(第六章沿草參照)

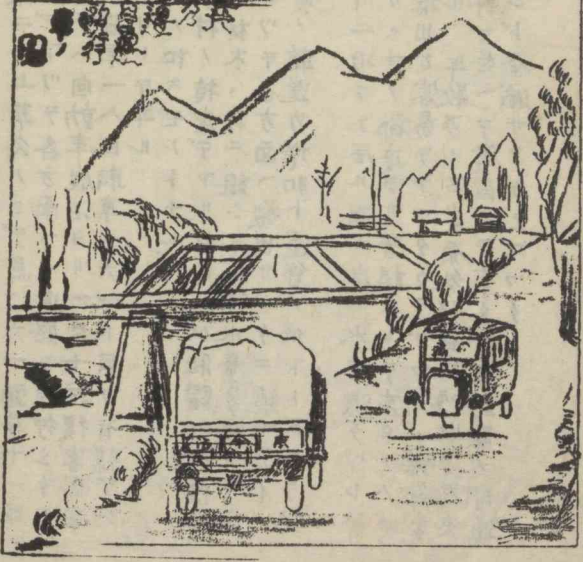


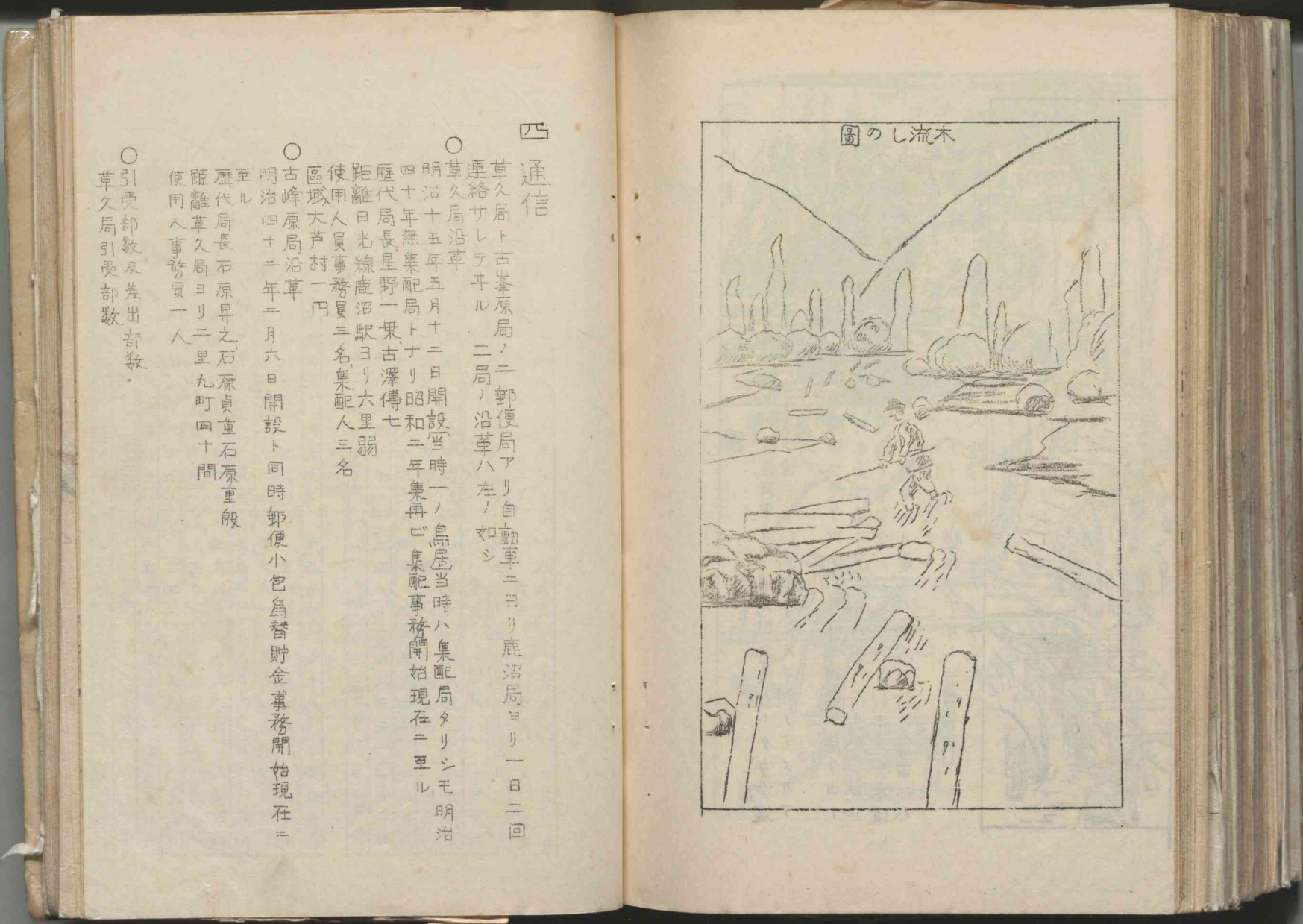
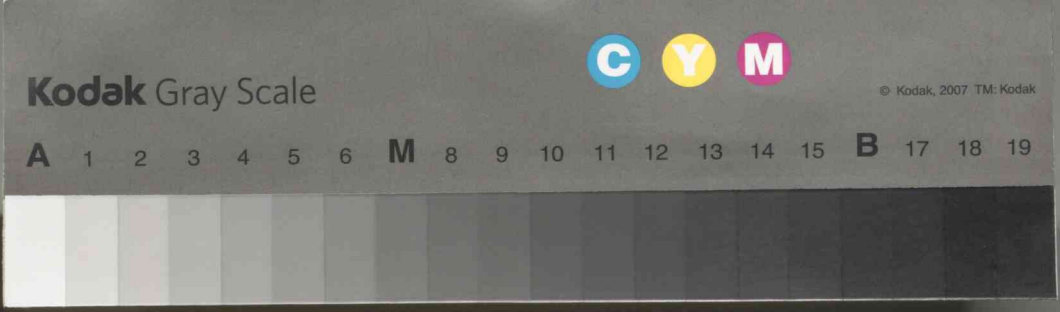


ソリ道の図



三
水運
石原宜安代藏古文書ニ引田村ヲ洗坪中ヨリ草久村ヘ差入レタ
ハ草久ヨリ流下スル後ノ流下ヲ谷ゲサレ約定書交久年間ノモノガア
之ヲ以テ見レバ本村材木ノ搬出ハ筏ヲ以テ大芦川ヲ利用シ居タコト
明カデアアルシカシ鹿沼トノ馬車道開通シテヨリハ専ラ荷馬車ニヨル
コトナリ後ニヨルコトハ皆無トナツタシカシ河ヲ利用スル木流
シハ今デモ尚ホ行ハレテ居リ白卒ヨリ奥ヘ入レバ木材ノ搬出ニハ
全ク河水ニヨル外ハ手段ガナイ個所モアル
故ニ本村ノ奥地ニ行キ水運ノナイ處ハ植林ハナサレテ平ナイ
今木材搬出系統ヲ圖示スレハ附圖ノ如キモノトナル





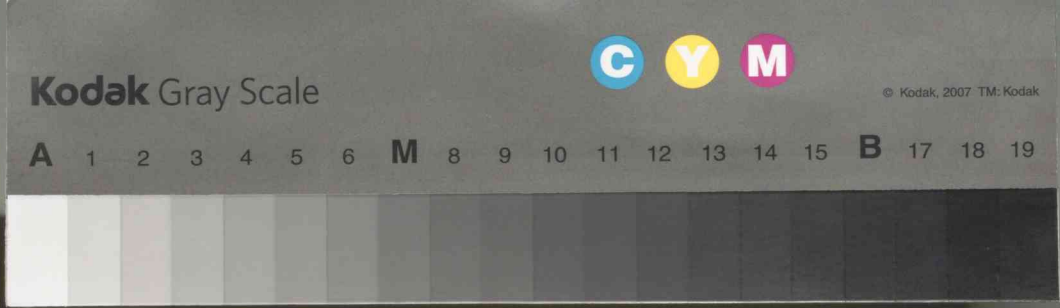
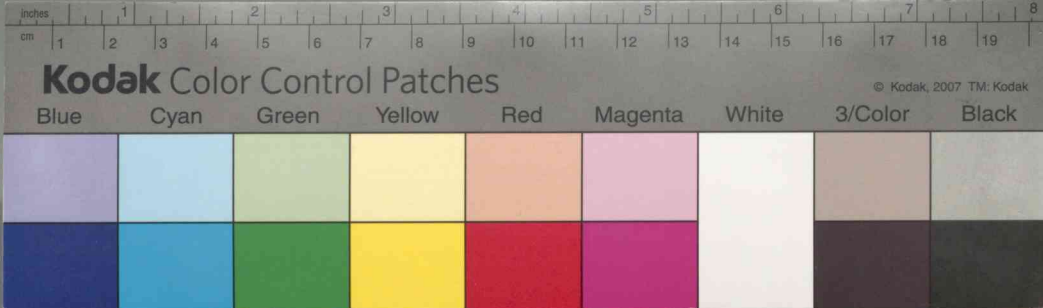
四通信

○草久局沿草
 草久局ト古峯原局ノ二郵便局アリ自動車ニヨリ鹿沼局ヨリ一日二回
 連絡サレテキル 二局ノ沿草ハ左ノ如シ
 明治十五年五月十二日開設當時一ノ鳥居當時ハ集配局タリシモ明治
 四十年無集配局トナリ昭和二年集再ハ集配事務開始現在ニ至ル
 歴代局長星野一策古澤傳七
 距離日光線鹿沼駅ヨリ六里弱
 使用人員事務員三名集配人三名
 區域大芦村一円

○古峰原局沿草
 明治四十二年二月六日開設ト同時郵便小包爲替貯金事務開始現在ニ
 至ル
 歴代局長石原昇之石原貞重石原重般
 距離草久局ヨリ二里九町四十間
 使用人員事務員一人

○引受郵数及差出郵数
 草久局引受郵数



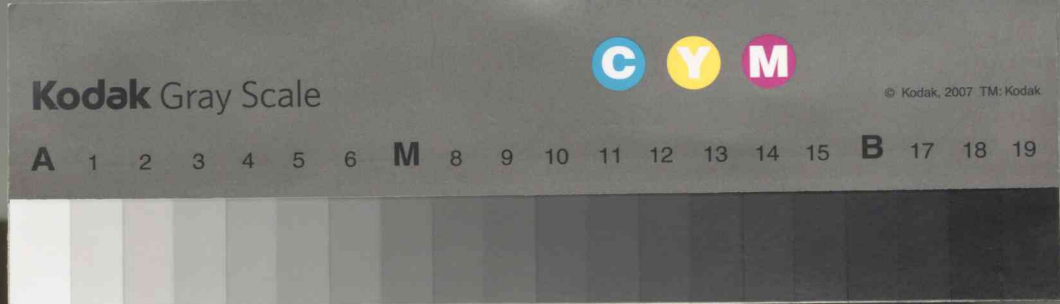
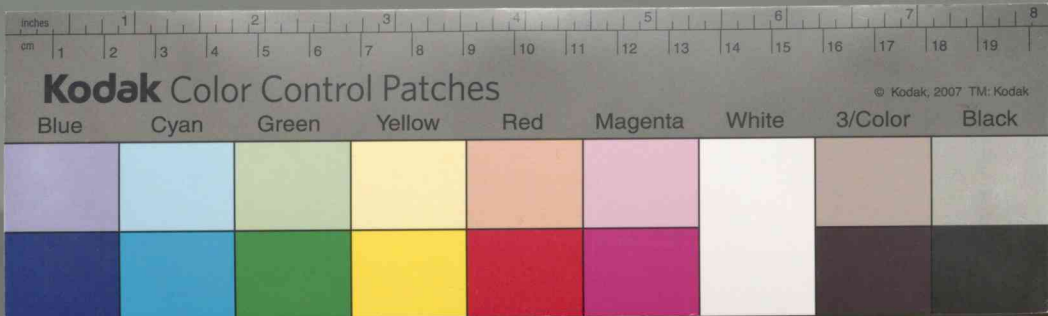


古峰原局引受物数

振替拂出		貯金拂出		為替拂出		種別		同局差出物数	
金額	口数	金額	口数	金額	口数	種別	年度	金額	口数
一三	一四	五七	一四	六〇	三七	種別	昭和元年	一六	二四
五九	七五	五五	七三	五三	七〇	種別	二年	七	一六
一一	〇〇	五〇	九〇	五六	一〇〇	種別	三年	一	九
八〇	七	五四	九四	五八	九九	種別	四年	一〇	一五
三一	一〇	四九	五六	五〇	五三	種別	五年	六	八

振替拂出		貯金拂出		為替拂出		種別		同局差出物数	
金額	口数	金額	口数	金額	口数	種別	年度	金額	口数
一七	二八	五六	四二	六三	五三	種別	昭和元年	五	三七
一五	六九	二四	六三	九一	四七	種別	二年	一	五
一八	六六	三九	八八	一〇	五〇	種別	三年	一	六
六	七	四	五	九	五	種別	四年	一	五
三	五	五	三	八	五	種別	五年	三	五

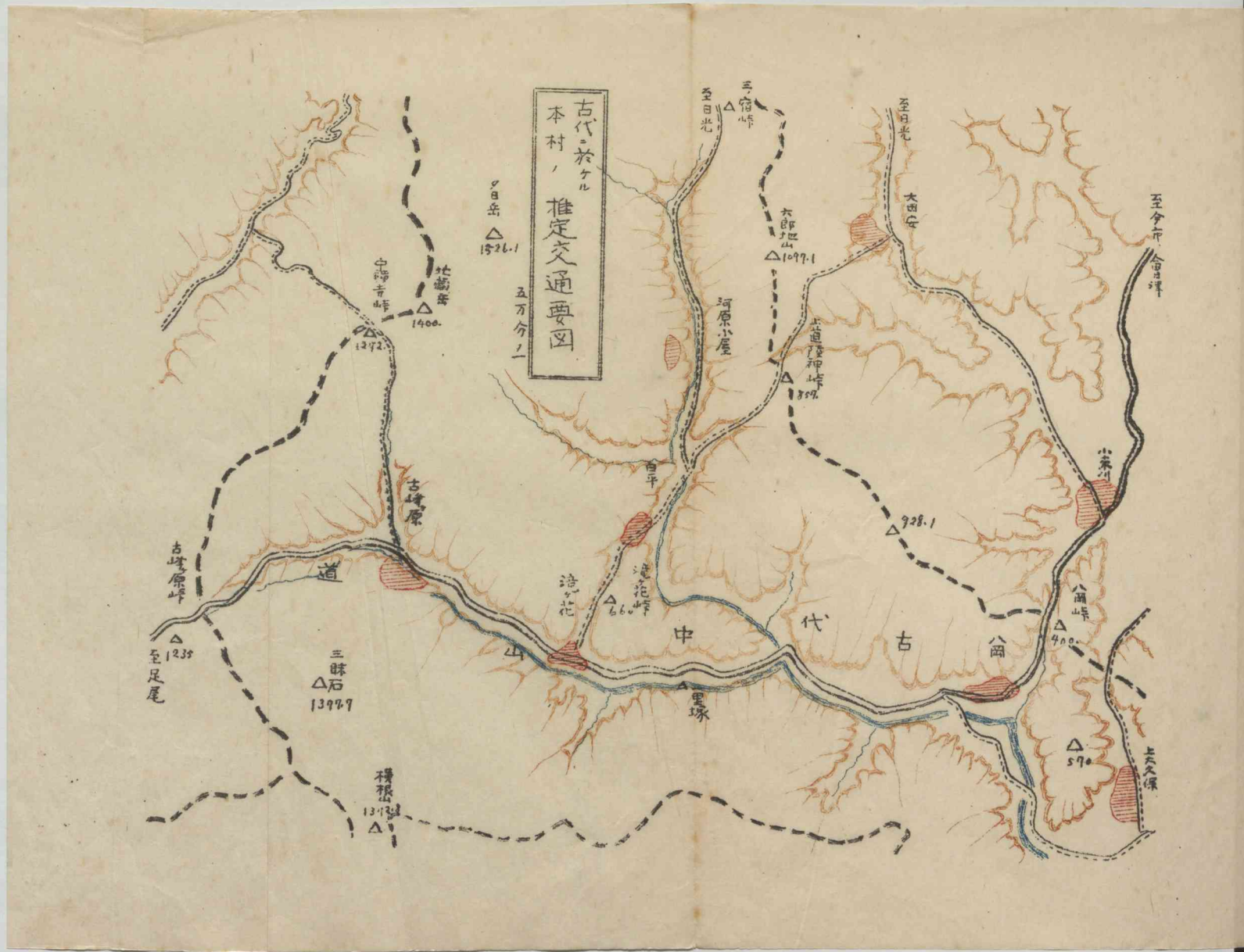
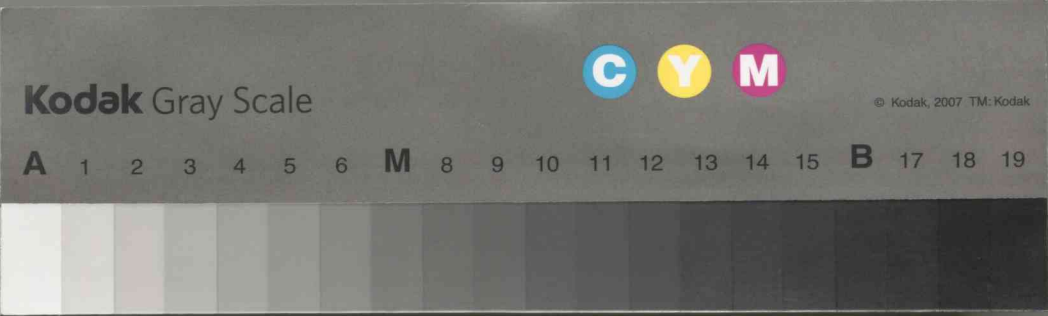


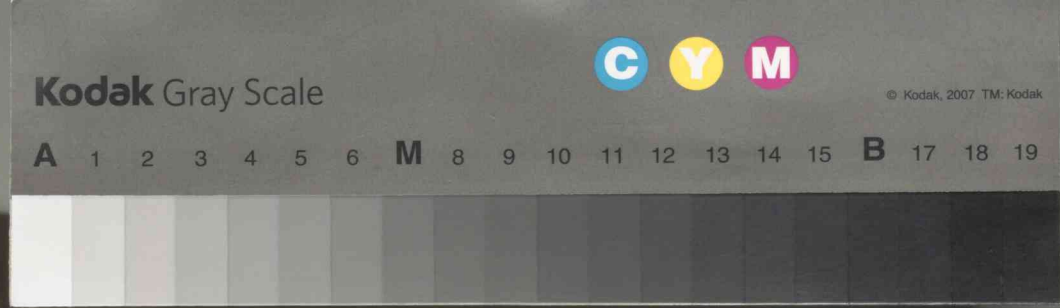
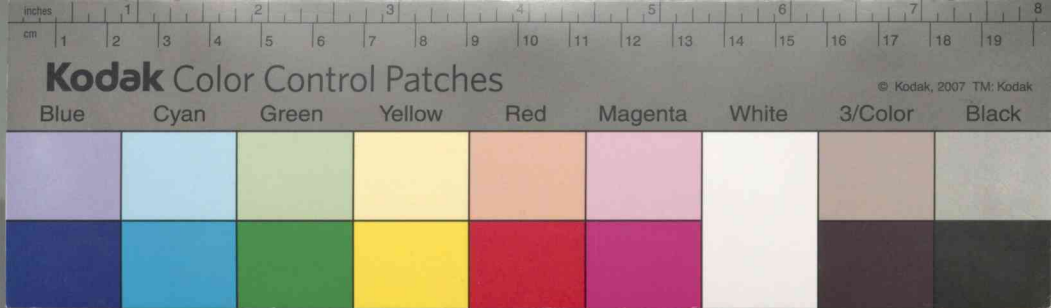


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13

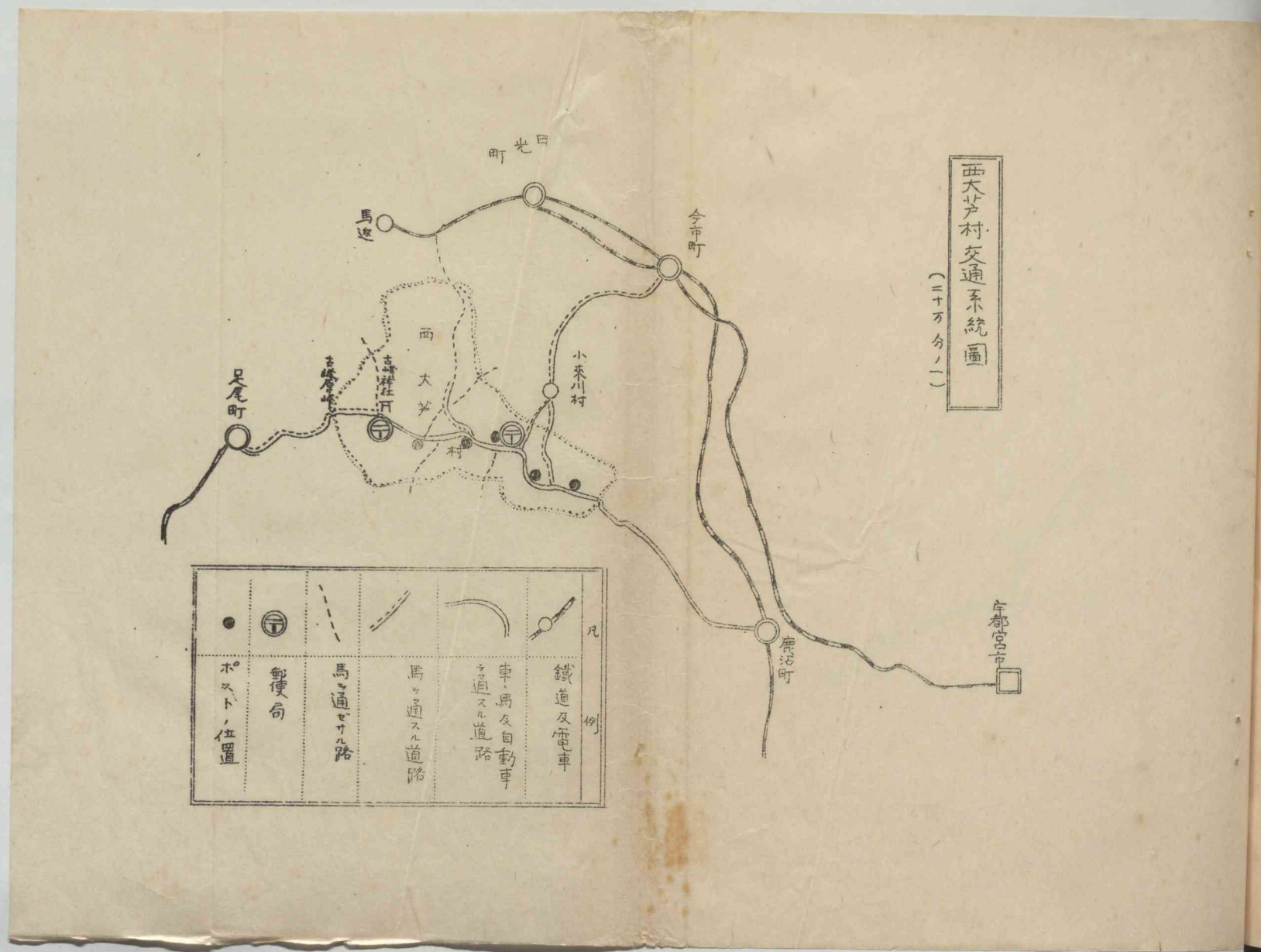
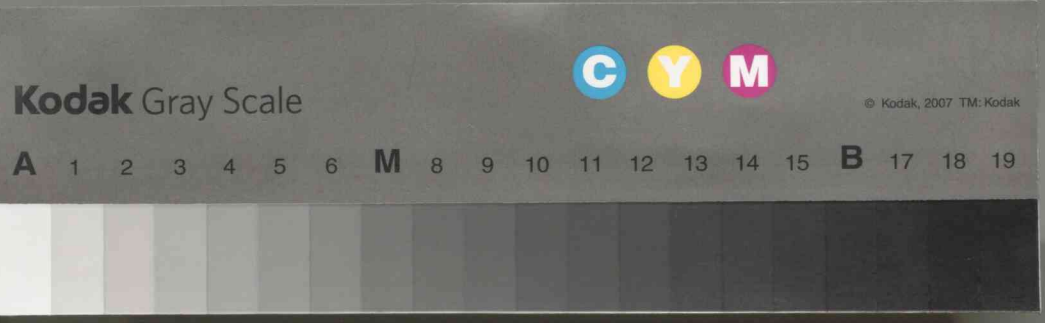


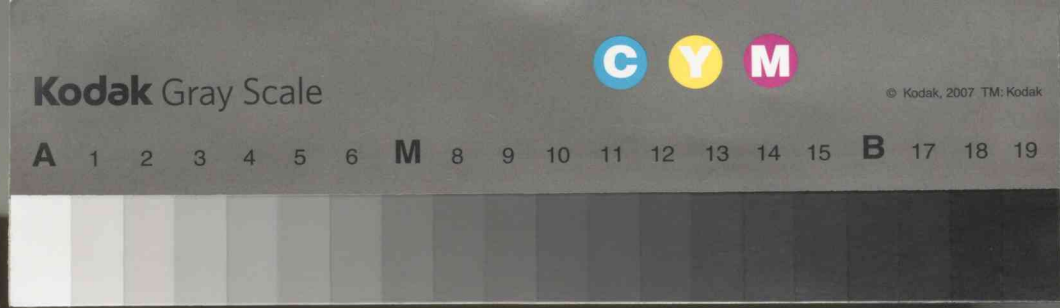




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料



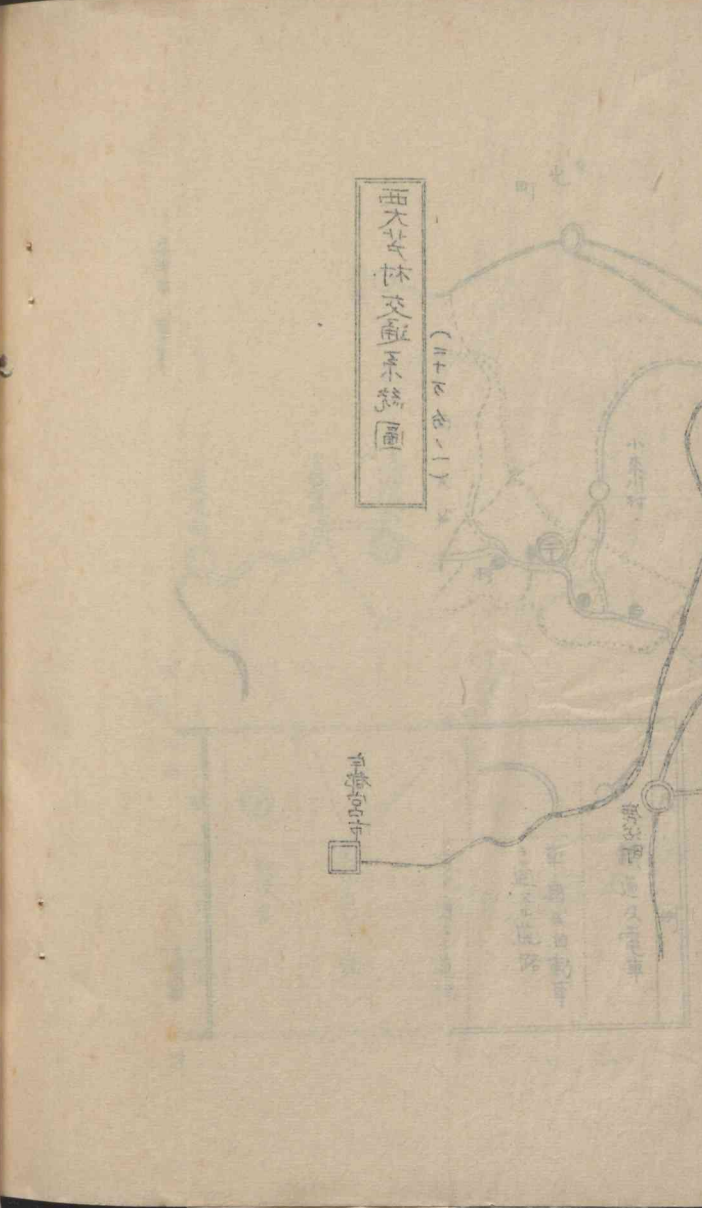
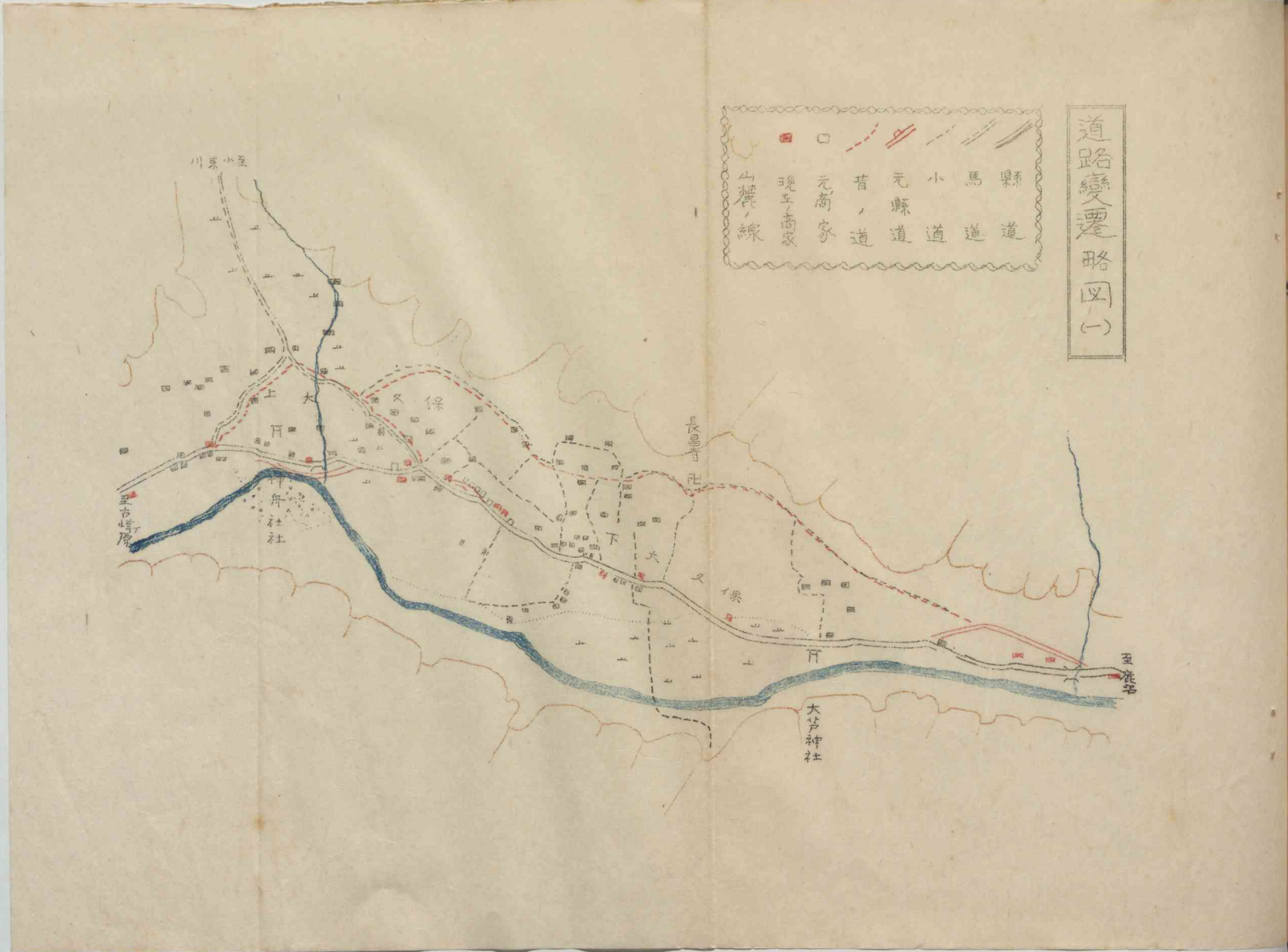
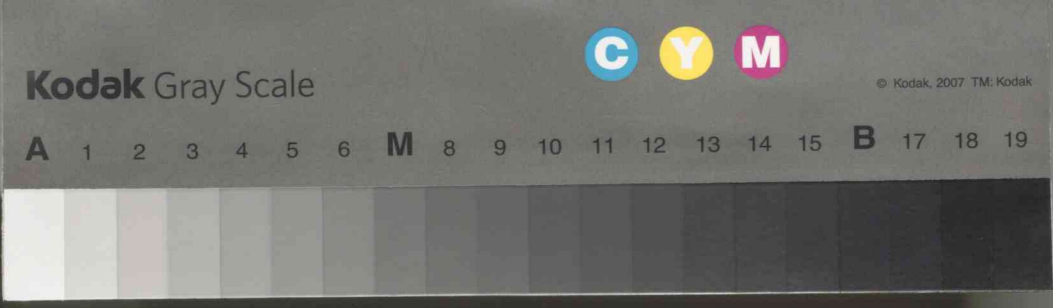


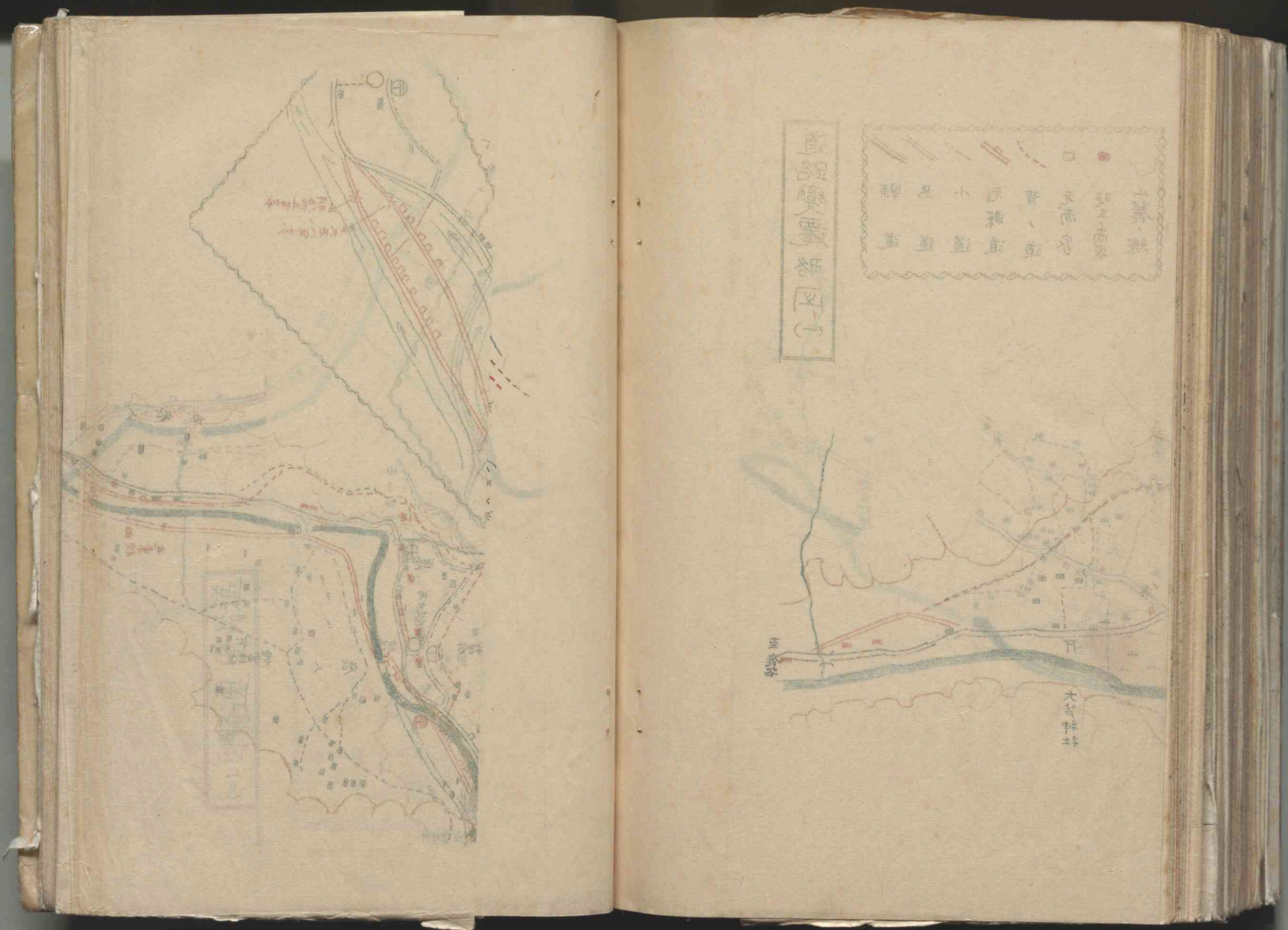
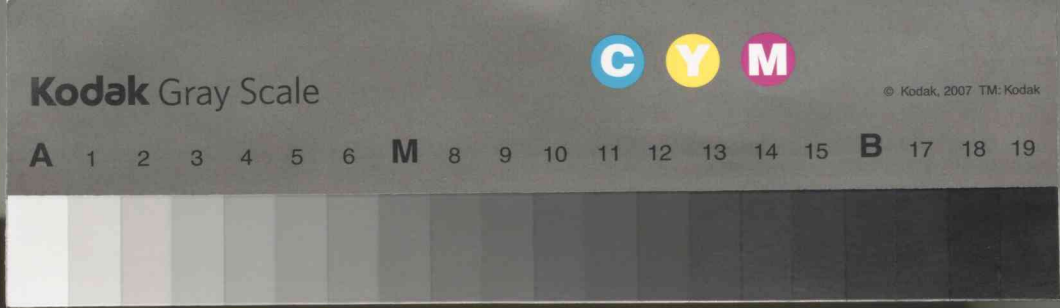


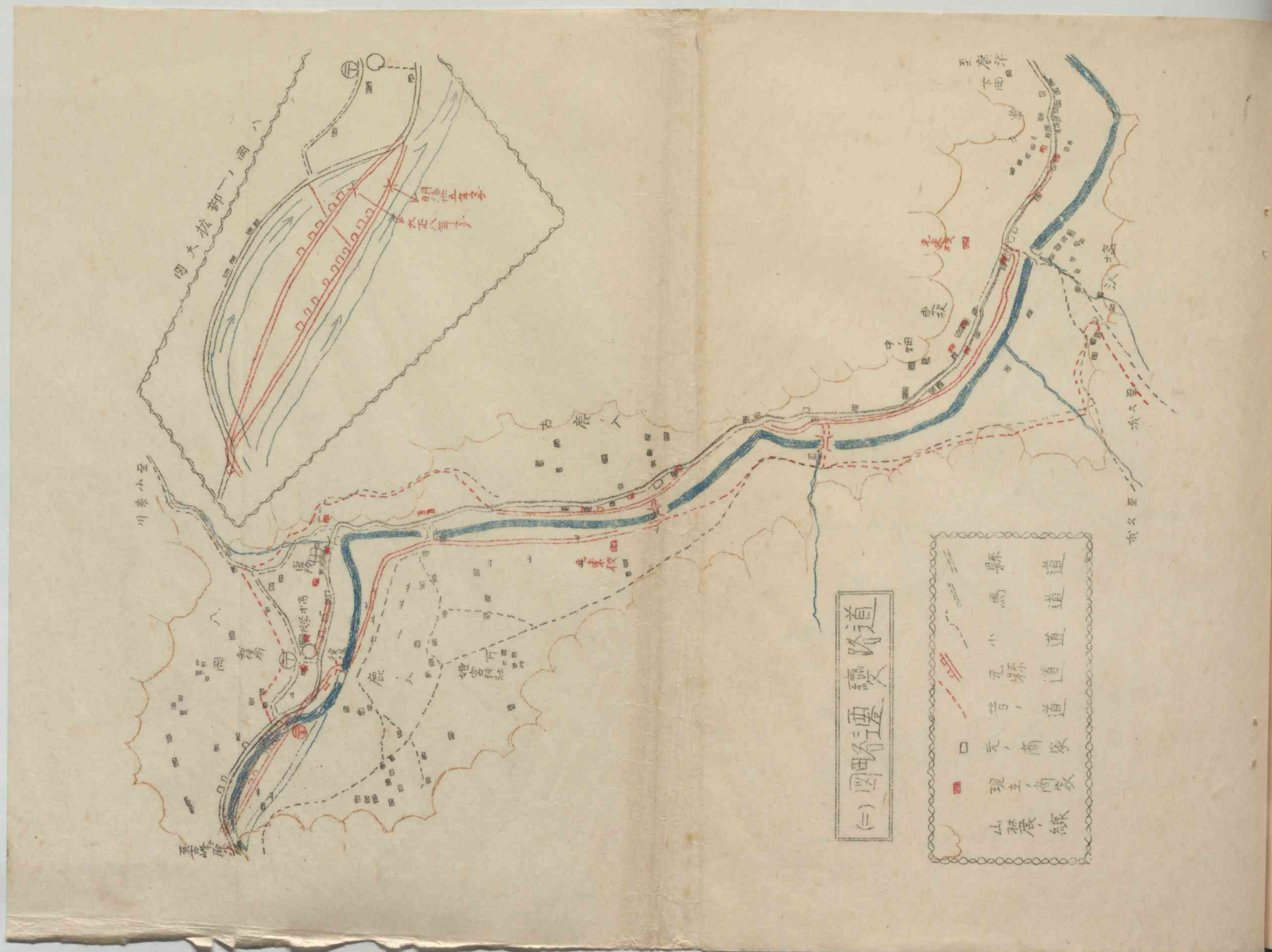
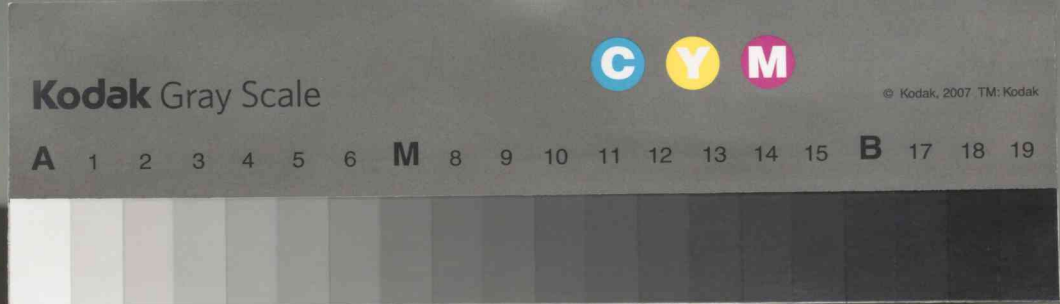
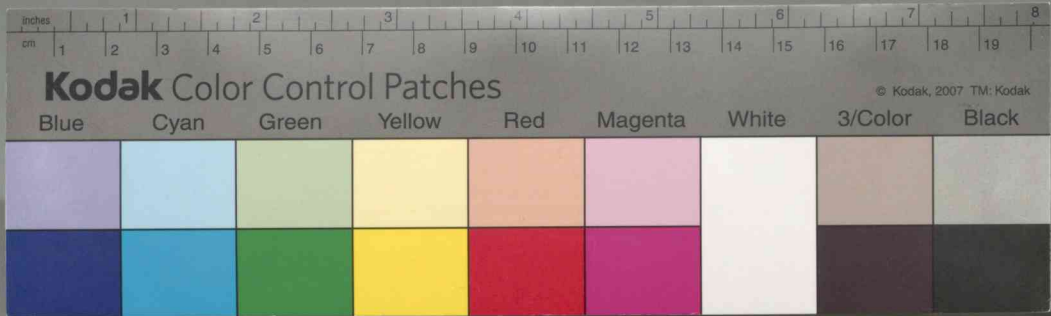
492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

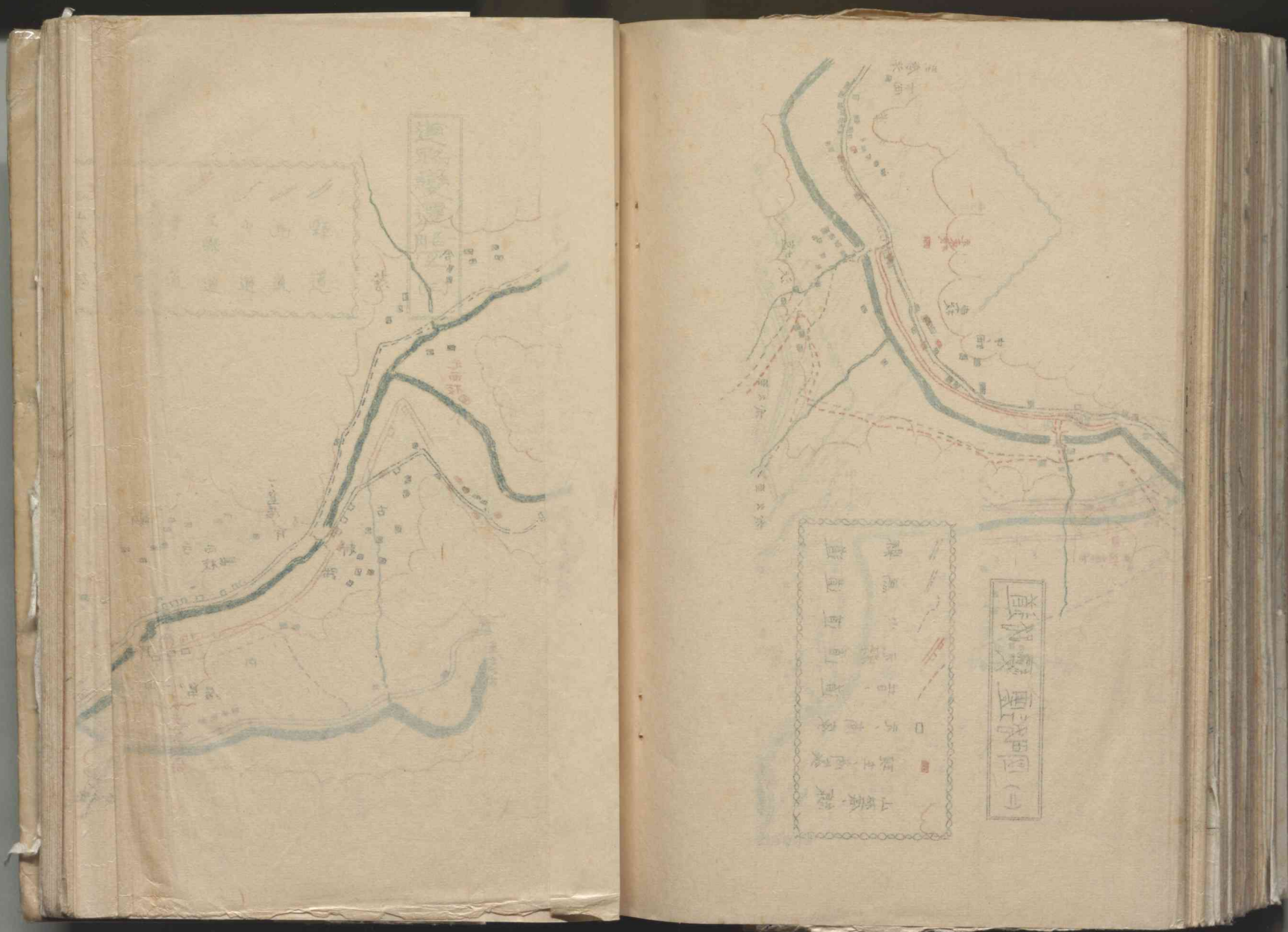
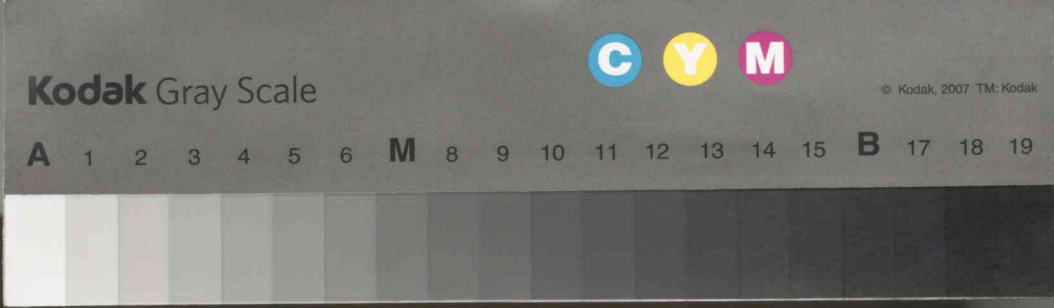
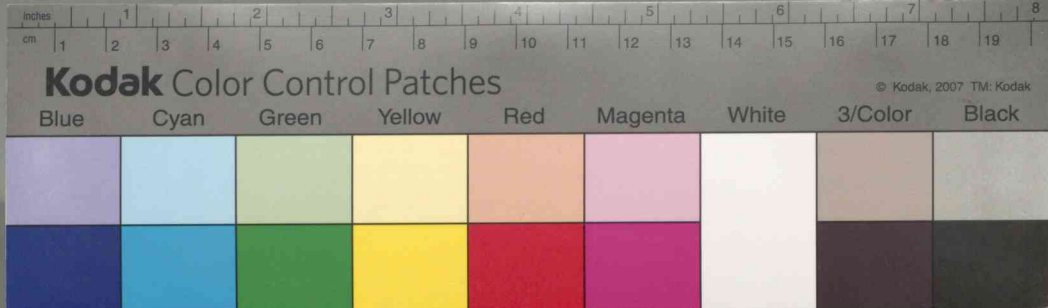
13







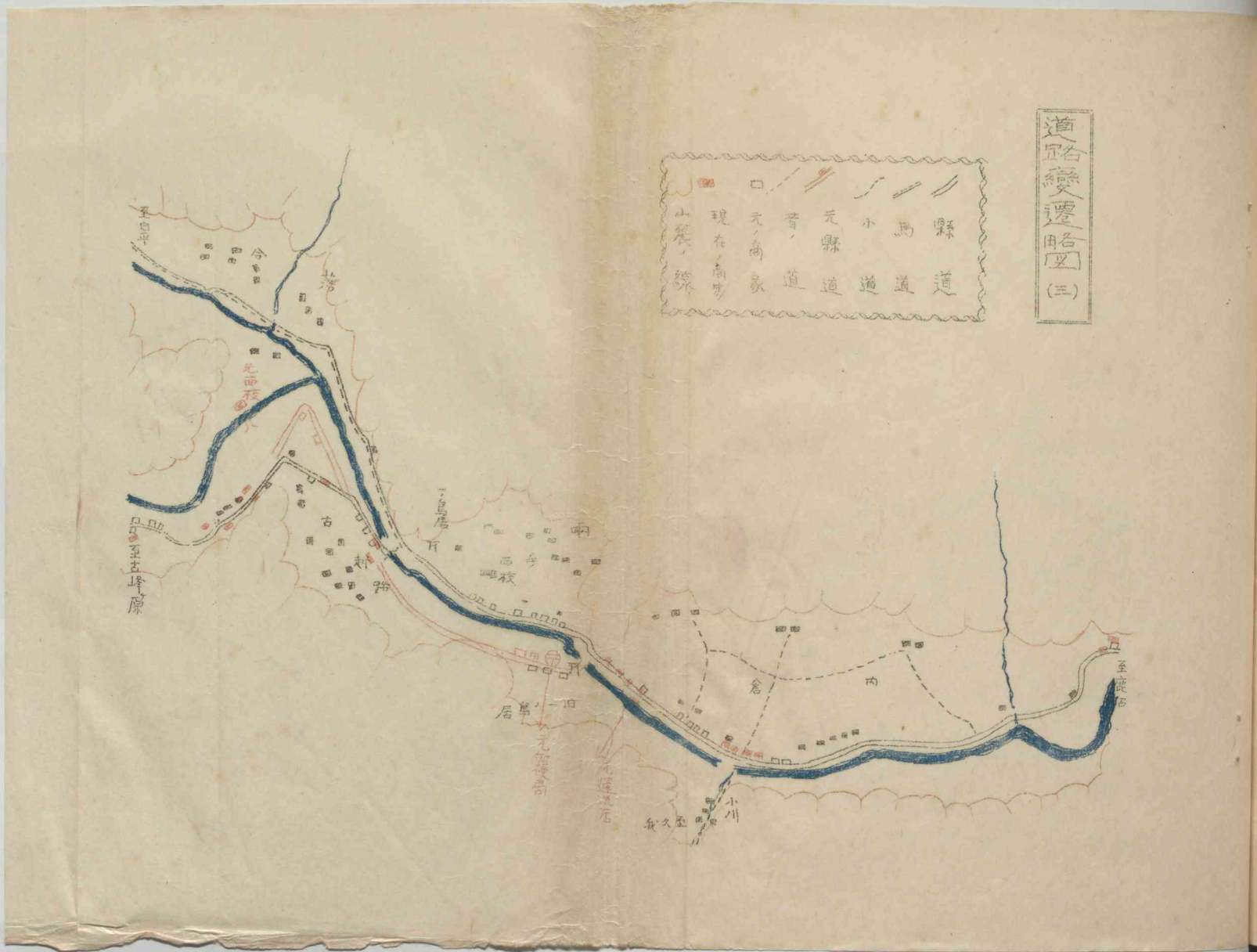
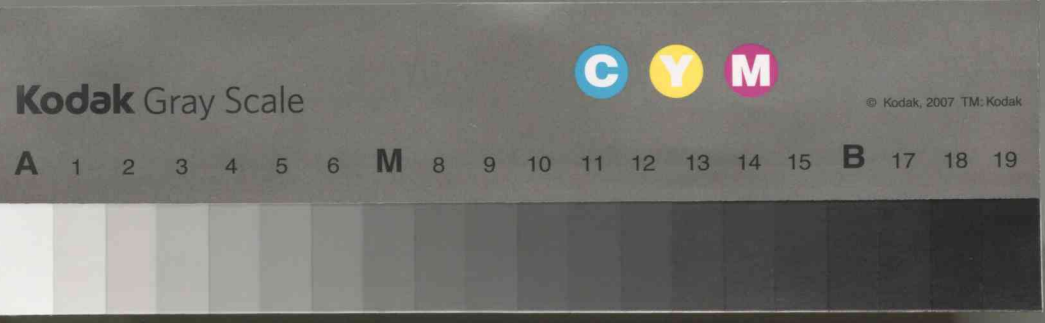




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

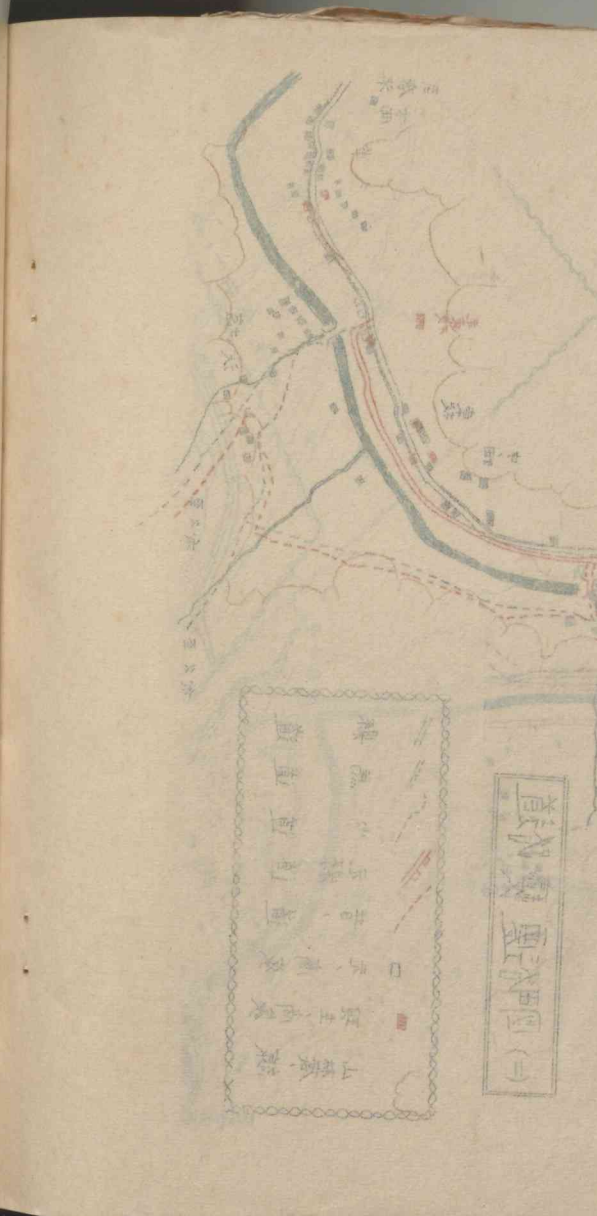
13





縣道
 馬道
 小道
 元縣道
 奇道
 元商家
 現在商步
 小麓線

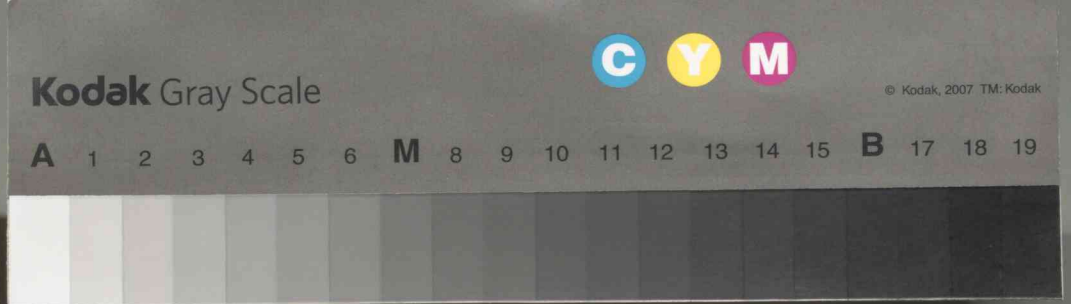
道路變遷略圖(三)



縣道
 馬道
 小道
 元縣道
 奇道
 元商家
 現在商步
 小麓線

道路變遷略圖(四)

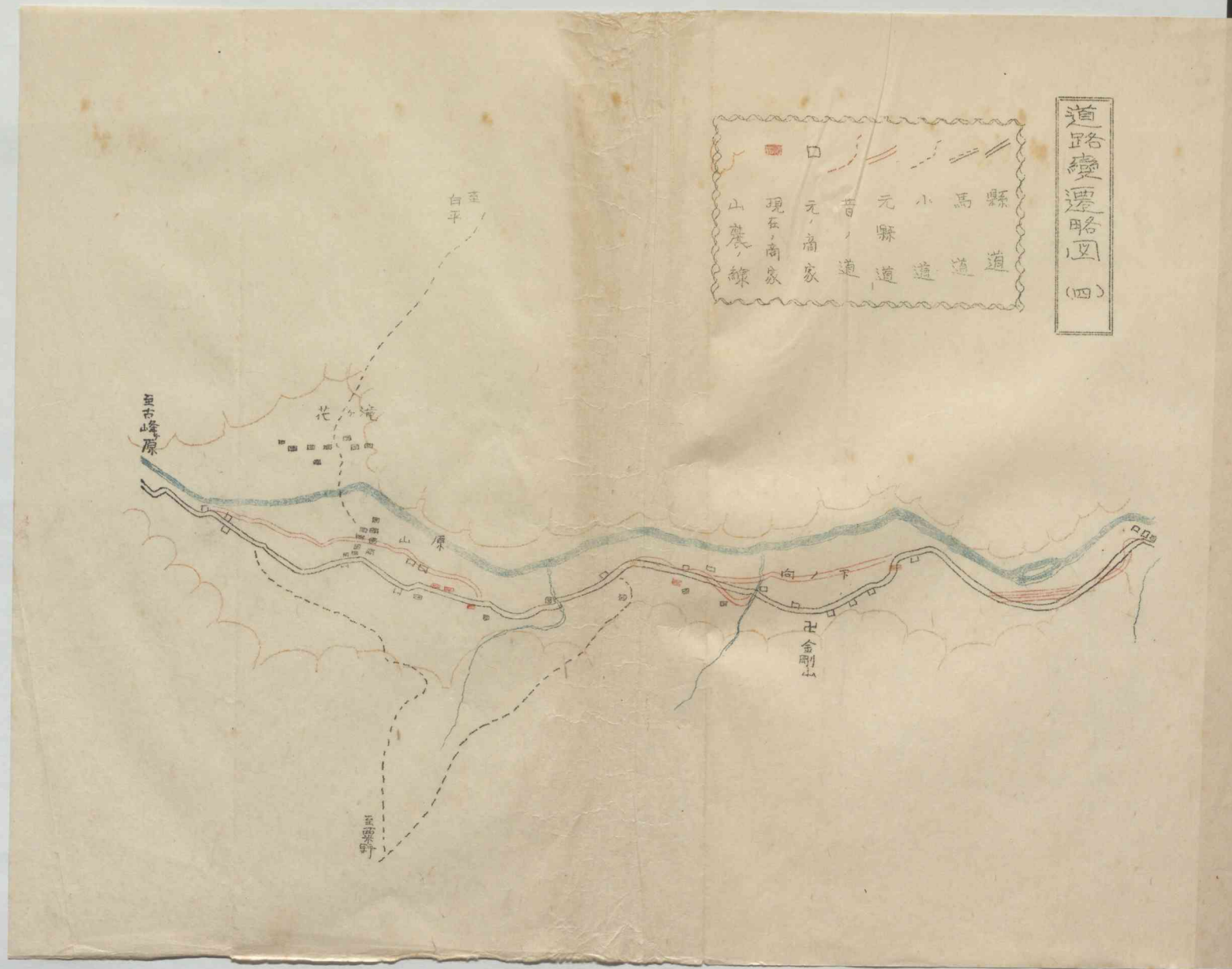
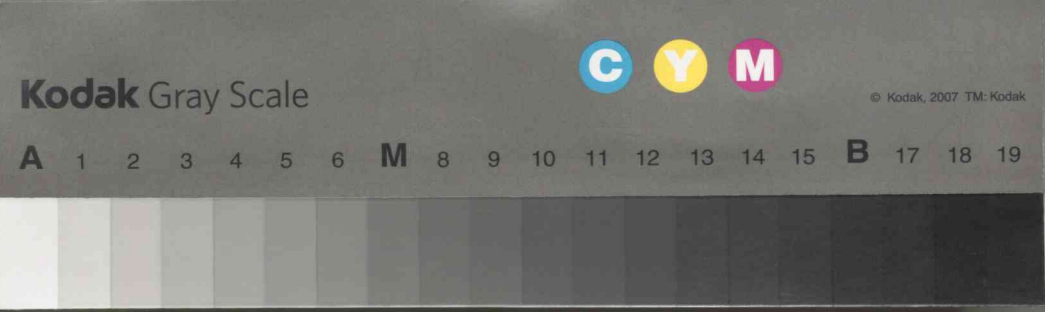




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

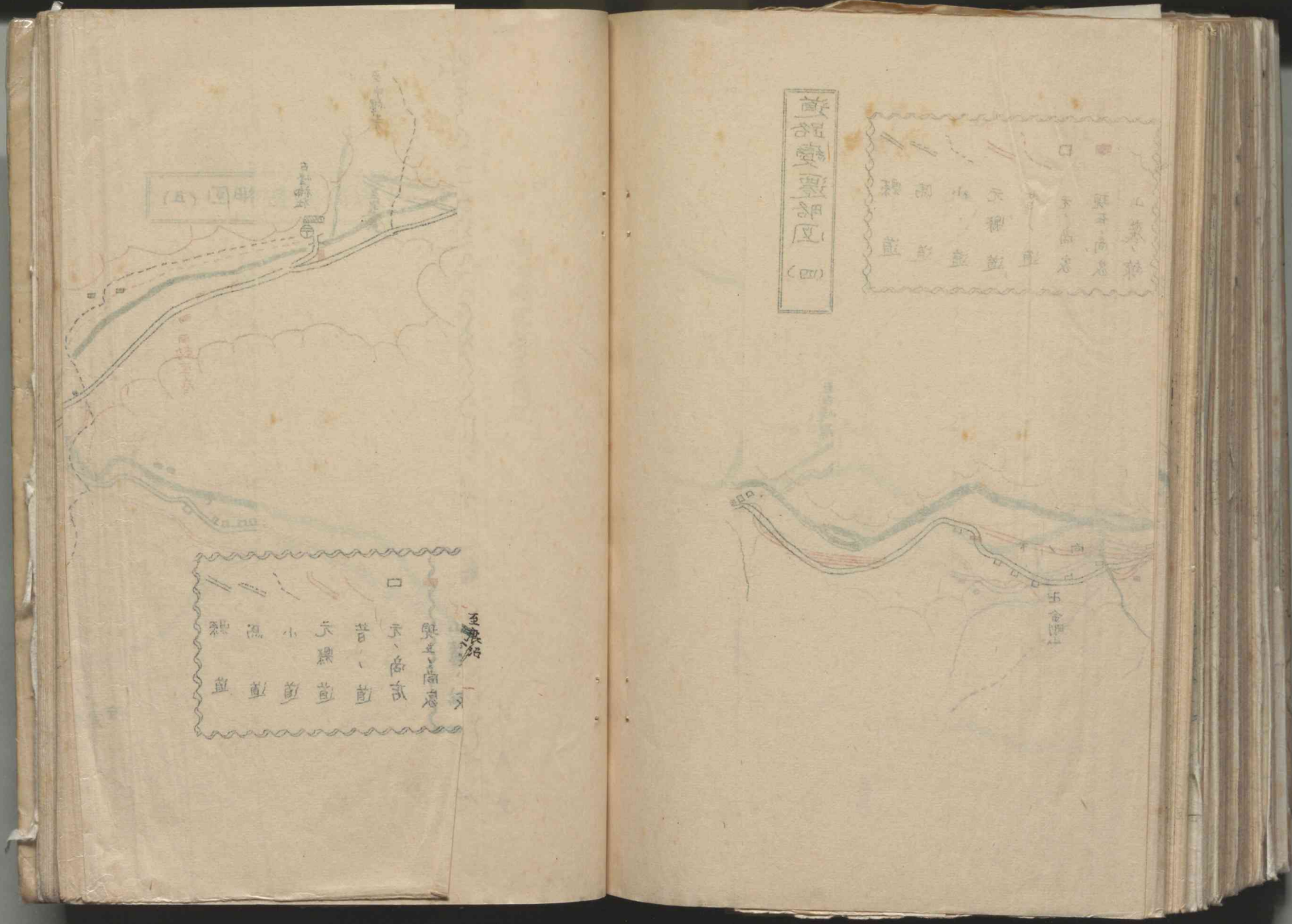
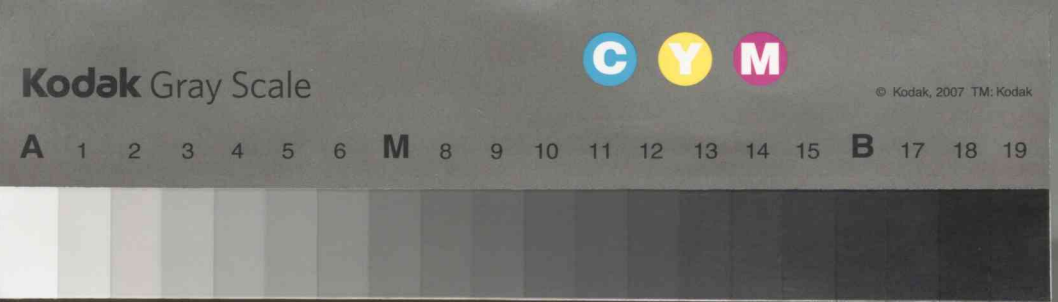
13





道路變遷略圖
(四)





492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

